

令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 淑徳福社会

特別養護老人ホーム淑徳共生苑
淑徳共生苑短期入所生活介護事業所
淑徳共生苑通所介護事業所
淑徳共生苑認知証対応型通所介護事業所
淑徳共生苑居宅介護支援事業所
淑徳おゆみ診療所
千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

目 次

1.	総括	1
2.	役員会開催報告	2
3.	職員配置・入退職状況	4
4.	施設内・外研修参加報告	5
5.	実習・施設見学実施報告	7
6.	年間行事及び地域交流報告	9
7.	各事業別報告	
	7-1. 特別養護老人ホーム	
	(1) 施設実績	10
	(2) 入居者状況	11
	(3) 施設相談員・介護支援専門員	15
	(4) 施設看護	17
	(5) 機能訓練	19
	(6) 栄養	21
	(7) 各ユニット	24
	7-2. 短期入所生活介護事業所	28
	7-3. 通所介護事業所・認知症対応型通所介護事業所	30
	7-4. 居宅介護支援事業所	34
	7-5. 淑徳おゆみ診療所	36
	7-6. 千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘	37
	7-7. 生活支援コーディネーター	43
8.	各委員会・部会活動報告	46
9.	防災対策報告	52
10.	法話会活動報告	54
11.	ボランティア受入報告	56
12.	家族会実施報告	58

1. 総括

ここ数年人材確保などの諸問題が改善されずに施設運営に大きく影響してきたが、年度途中より介護人材の確保及び運営体制などの課題に向け、抜本的な組織及び運営体制の見直しに取り組んできた。介護人材については人材派遣を多用し、役職職員の人事についても重ねて見直しを行い、職場環境の改善に向けいくつかの具体的な取り組みも成された。全般的な事業活動は概ね順調に推移し、歳入は安定していたが人材派遣の費用負担増に伴い、昨年度に比べて減益となっている。

事業ごとの特徴的な内容としては、施設サービスについては入院者数の減少があったが、重度者の増加に伴い、現場の介護職の負担増やケア困難者も増えているので業務内容の見直しを図った。通所介護及び短期入所介護事業は、新型コロナウイルス感染対策もあって利用者の減少で稼働率も低下している。診療所事業は、患者数も安定し一定の収益を確保することができた。千葉市からの2つの受託事業とも順調に実施でき、全般的に活動実績も整っている。

なお、法人全体として2月からの新型コロナウイルス感染対策は現在も進行中であるが、これまで以上に当初から万全な予防対策と全職員に行動の自粛を促し、ご家族も含め外部者の一切の施設出入り等を制限した対応を継続している。現場実習については概ね順調に対処できたが、感染症の影響で、社会福祉学科の1年生基礎実習は中断されているので翌年度への継続となっている。次年度以降も実習全般が通常通り実施することができるか不明瞭な状況だが、これまで以上に大学等との連携に努め、実習教育の基幹的な役割と社会貢献を果たしていく。

施設長 林 房吉

2. 役員会開催報告

理事会開催報告

回	期日	出席理事	出席監事	報告事項及び議案
第1回	6月4日	6名	2名	第1号議案 平成30年度事業報告、決算について 第2号議案 定時評議会の召集について 第3号議案 次期役員等選任(案)について
第2回	6月25日	6名	1名	第1号議案 社会福祉法人淑徳福社会理事長の選定について 第2号議案 社会福祉法人淑徳福社会業務執行理事の選定について 第3号議案 就業規則の一部改正について
第3回	9月18日	6名	1名	第1号議案 令和元年度第一次補正予算(案)について 第2号議案 規程・規則の一部改正について
第4回	12月3日	6名	2名	第1号議案 台風被害復旧工事契約について 第2号議案 介護職員等特定処遇改善加算手当支給基準について 第3号議案 令和元年度第二次補正予算(案)について 第4号議案 令和元年度社会福祉法人等指導監査の結果について 第5号議案 福利厚生センター加入について
第5回	1月31日	6名	-	臨時理事会 第1号議案 組織体制の見直しについて
第6回	3月18日	6名	2名	第1号議案 令和元年度第三次補正予算(案)について 第2号議案 令和2年度事業計画(案)について 第3号議案 令和2年度当初予算(案)について 第4号議案 規程の一部改正について 第5号議案 諸契約について 第6号議案 永年勤続表彰について

評議員会開催報告

回	期日	出席評議員	出席監事	報告事項及び議案
第1回	6月25日	5名	1名	第1号議案 平成30年度事業報告、決算について 第2号議案 次期役員及び顧問の選任について

3. 職員配置・入退職状況

(令和2年4月1日現在)

特養（短期入所含む）入所定員 100 名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
施設長（管理者）	1	1	-
生活相談員	2	3	-
看護師（兼務）	3	5	2
介護職員	34	45	6
管理栄養士	1	1	-
介護支援専門員	1	1	-
医師	1	1	-
機能訓練指導員	1	1	-
事務長	-	1	-
事務員・庶務員	-	3	1
宿直員	-	2	2
計	45	66	13

通所（認知症対応型含む）利用定員 35 名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(2)	(2)	-
生活相談員（兼務）	2	3 (2)	-
看護師（兼務）	1	2 (1)	1
介護職員（兼務）	5	9	4
運転手	-	1	1
計	8	15	6

居宅介護支援事業所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(1)	(1)	-
主任介護支援専門員	-	1	-
介護支援専門員	1	2	-
計	1	2	0

診療所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
医師	1	2	1
看護師	-	2	2
事務員	-	2	1
放射線技師	-	1	1
薬剤師	-	2	2
計	1	9	7

あんしんケアセンター松ヶ丘

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(1)	(1)	-
保健師・看護師	3	2	-
主任介護支援専門員	3	4	-
社会福祉士	3	4	-
事務員	2	2	2
介護支援専門員		1	1
計	11	13	2

職員入退職状況（令和元年度中）

職種	入職	有期⇄無期、 正規雇用	退職
正規雇用職員	6	0	10
無期契約職員	0	3	0
有期契約職員	6	0	9
計	12	3	19

4. 施設内・施設外研修参加報告

内部研修

月	日付、内容、参加人数		
4月	23日	援助者の基本姿勢	29名
5月	15日	リハビリレク	23名
	22日	オムツについて（講義・実践）	21名
	23日	基礎介護技術「食事」	20名
6月	5日	ハンドタッチケアについて	13名
	12日	食中毒予防のための衛生的な手洗いについて	29名
	26日	機能訓練について	23名
7月	9日	基礎介護技術「排泄」	16名
	30日	水分補給について	25名
8月	13日	上野流～認知症見立て術①	20名
	20日	事故防止対策について～薬について～	19名
	27日	身体拘束廃止について	19名
9月	3日	上野流～認知症見立て術②	21名
	10日	感染症の対応について	22名
	17日	上野流～認知症見立て術③	18名
10月	1日	栄養について	23名
	8日	上野流～認知症見立て術④	22名
	16日	スキンケアの予防	25名
	22日	接遇について	25名
	29日	ベトナムについて	27名
11月	5日	上野流～認知症見立て術⑤	14名
	19日	権利擁護・虐待について	25名
	26日	認知症対応型デイサービスについて	20名
12月	3日	ハンドタッチケアについて	8名
	10日	緊急時対応について	17名
	17日	補聴器について	22名
	25日	身体拘束廃止について	12名
1月	14日	喀痰・吸引について	22名
	24日	トランスの基礎・応用	17名
	28日	看取り介護の振り返り	22名
2月	18日	メンタルヘルスストレスマネジメント	22名
	25日	苦情の対応について	16名
3月	3日	上野流～認知症見立て術⑥	12名
	10日	高齢者における不眠～その病態と対応について	18名
			計 687名

外部研修

月	日付、内容、参加人数		
4月	10日	ミュージック・ケア初級者研修	4名
	11日	安全運転管理者講習会	1名
5月	8日	ミュージック・ケア初級者研修	4名
6月	12日	ミュージック・ケア初級者研修	4名
7月	10日	ミュージック・ケア初級者研修	4名
	23日	千葉県高齢者福祉施設協会施設長・事務担当者研修会	1名
8月	27・28日	学校法人大乗淑徳学園大巖寺研修	2名
	28日	ミュージック・ケア初級者研修	4名
9月	5日	千葉市老人福祉施設協議会非常対策研修会	1名
	26日	ミュージック・ケア初級者研修	2名
10月	2～4日	ユニットリーダー研修	1名
	2日	千葉市感染症予防講習会	1名
	9日	ミュージック・ケア初級者研修	4名
	15日	千葉市老人福祉施設協議会実務者研修会	1名
11月	7日	千葉県高齢者福祉施設協会高齢者福祉施設新任施設長及び管理者研修	1名
	12日	千葉市老人福祉施設協議会実務者研修会	1名
	13日	ミュージック・ケア初級者研修	4名
	23・24日	社会福祉士実習指導者講習会	1名
	27日	千葉県高齢者福祉施設協会施設ケアマネ研修会	1名
12月	2日	千葉県高齢者福祉施設協会居宅ケアマネ研修会	2名
	11日	ミュージック・ケア初級者研修	4名
1月	8日	ミュージック・ケア初級者研修	4名
	10日	千葉県社会福祉協議会新任職員研修	1名
	31日	千葉県社会福祉協議会人事評価研修	1名
2月	4日	千葉労働局職場パワーハラスメント防止対策等説明会	1名
	4日	高齢者虐待防止研修会	3名
	7日	千葉県社会福祉協議会社会福祉法人会計実務者研修	1名
	12日	ミュージック・ケア初級者研修	4名
	13日	ユニットリーダー研修 修了研修	1名
3月	6日	社会福祉法人会計セミナー・予算・決算編	1名
			延べ65名

5. 実習・見学実施報告

見学・実習（大乘淑徳学園関連）実施状況

月	日程	学部等	内容	人数
4月	1日～3月26日	大学院	臨床心理配属実習Ⅰ（長期実習）	1名
5月	21日～23日	看護栄養	老年看護学実習 4年生総合実習	5名
6月	4日～28日	総合福祉	公認心理士 短期体験実習	6名
	11～13日	看護栄養	老年看護学実習Ⅰ デイ臨地実習	6名
	18～20日	看護栄養	老年看護学実習Ⅰ デイ臨地実習	6名
7月	2日～12日	総合福祉	公認心理士 短期体験実習	5名
	29日～8月19日	総合福祉	相談援助（施設現場）実習（3・4年生）	8名
	29日～8月12日	短期大学部	介護福祉士現場実習	1名
8月	26日～9月16日	総合福祉	相談援助（施設現場）実習（3年生）	7名
	5日～9月13日	総合福祉	相談援助（地域包括）実習（3年生）	7名
	29日	看護栄養	管理栄養士給食臨地実習	6名
9月	3～27日	看護栄養	管理栄養士給食臨地実習	6名
10月	3日～3月26日	大学院	臨床心理配属実習Ⅰ（長期実習）	1名
	14～31日（8日間）	総合福祉	相談援助実習（導入実習） 4グループ	計81名
11月	14～28日（3日間）	総合福祉	心理実践研究 久保田クラス	4名
	1～19日（10日間）	総合福祉	相談援助実習（導入実習） 5グループ	計101名
12月	5～19日（3日間）	総合福祉	心理実践研究 久保田クラス	4名
1月	20～2月1日（12日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習） 2グループ	計44名
	24日	大学院	修士論文ヒアリング	1名
2月	3～29日（18日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習） 3グループ	計71名
				計371名

実習関係会議等参加状況

月	日程	学部等	内容	人数
4月	19日	総合福祉	新入生セミナー 宿泊引率	3名
	18日、19日、25日	総合福祉	相談援助実習Ⅰ 振返り授業	4名
5月	9日、16日、23日、30日	総合福祉	相談援助実習Ⅰ 振返り授業	4名
	31日	看護栄養	看護臨地実習報告会	1名
6月	6日、13日	総合福祉	相談援助実習Ⅰ 振返り授業	2名
7月	4日	総合福祉	相談援助実習運営委員会	2名
	25日	大学院	臨床心理配属実習担当者会議	1名
9月	3日	総合福祉	実習教育センター担当者との会議	4名

10月	3・4日	総合福祉	社会福祉士導入実習書類受付対応	3名
	3日	総合福祉	相談援助実習運営委員会	2名
	14日	大学院	臨床心理配属実習報告会	1名
	11日	総合福祉	相談援助実習Ⅰ合同授業	2名
11月	22日	総合福祉	相談援助実習Ⅰ合同授業	2名
	30日	総合福祉	社会福祉学会	1名
12月	5日	総合福祉	相談援助実習運営委員会	2名
	14日	短期大学部	介護福祉士実習報告会	1名
	20日	総合福祉	相談援助実習Ⅰ合同授業	2名
2月	14日	看護栄養	管理栄養士臨地実習報告会	1名
				計 38名

見学・実習（他学校・他団体）実施状況

月	日程	内容	人数	
4月	18日	中国より施設見学	4名	
6月	19日	社会福祉法人千葉シニア 施設見学	2名	
	20日	千葉県社会福祉協議会外国人材支援センター見学	5名	
	26日	稲毛こひつじ園外国人介護人材で視察	2名	
7月	4日	千葉市介護保険課外国人雇用ヒアリング	2名	
	11日	EPA ベトナム介護福祉士6期候補生 施設見学	26名	
9月	12日	帝京平成大学健康スポーツ学部看護学科 老年看護学Ⅰ	32名	
	26日	台湾台北市立大学ミュージックケア見学	12名	
11月	8～10日	蘇我中学校より職場体験	2名	
1月	14日	千葉市生涯大学校より施設見学	5名	
				計 92名

6. 年間行事及び地域交流報告

	日付	場所	行事	内容
4月	4月中 2日 11・18日 17日 25日	苑内 外出 外出 苑内 苑内	花見月間 永年勤続者表彰式 イチゴ狩り 降誕会 演芸慰問	特養・デイにてお花見のため外出 入職後10年勤続者を表彰 地域のイチゴ園にイチゴ狩りへ 宗教行事 地域のみつる会の演芸披露
5月	5月中 10日	苑内 苑内	子どもの日 母の日会	正面玄関に鑑飾りを設置 カーネーションプレゼントなど
6月	3日 3日 6日 28日	地域 苑内 苑内 外出	生実町内会体育祭 家族会総会 父の日会 生実池外出	職員が地域の催しに参加 家族会による清掃奉仕・総会・懇談会 喫茶サイホオンで居酒屋風におやつ提供 生実池で蓮の鑑賞
7月	7日迄 5日 5日 21日	苑内 苑内 地域 苑内	七夕 盂蘭盆会 生浜地区徘徊模擬訓練 納涼祭	本物の竹を用意し、苑内に短冊を設置 宗教行事及びボランティア演芸披露 認知症啓発のための地域活動参加 夏祭り。家族、地域関係者など招く
8月	17日 30日	苑内 苑内	生実町花火大会 花火レク	地元花火大会を月影堂などから見学 共生苑正面にて花火
9月	16日 16日 19日	苑内 地域 苑内	敬老会 生実地区敬老会 大巖寺幼稚園・慈光保育園交流会	敬老のお祝い 地域の敬老会 特養を園児が訪問し、遊戯などを実施
10月	8,24日 17日 27日	苑内 外出 地域	運動会(デイ、特養) 買い物外出レク マハヤナ学園創立100周年式典	おゆみホールにて運動会を開催 地域のショッピングセンターへ外出 関連法人の記念式典の参加
11月	2日 3日 21日 29日	地域 地域 苑内 地域	RUN伴2019 生浜地区体育祭 デイサービス文化祭 演芸慰問	認知症啓発活動に職員多数参加 地域の体育祭に参加 利用者様の作品展示など 地域のみつる会の演芸披露
12月	1日 7日 19日 27日	苑内 苑内 苑内 苑内	家族会清掃奉仕 成道会 クリスマス会 餅つき会	家族会による清掃・懇談会を開催 宗教行事 特養・デイにてイベント開催 おゆみホールにて餅つき大会開催
1月	1日 5日 6日 26日	苑内 地域 苑内 地域	共生苑初詣 生実町内会新年会 新春ニューイヤーコンサート 生実町内百寿会新年会	共生苑内での初詣を実施 地域の新年会 淑徳大学看護栄養学部生の慰問 35周年の記念も兼ねた新宴会に参加
2月	7日	苑内	涅槃会	宗教行事

(特養ユニット毎の行事はP22～、デイサービスの行事はP32に掲載)

- ・毎週木曜：特養合同レク
- ・毎週金曜：法話会
- ・第2、4水曜：外部講師によるミュージックケア（特養・デイ）
- ・第3水曜：外部講師によるリハビリレク（特養・デイ）
- ・隔週金曜日：ボランティアによる演奏披露（特養）
- ・月2回：ボランティアによる書道教室（特養）
- ・月2回：ボランティアによる書道教室（デイ）
- ・月1回：ボランティアによる生け花教室（デイ）

7. 各事業別報告

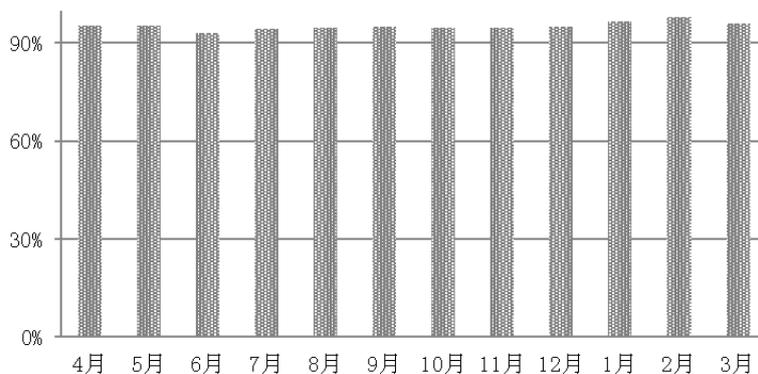
7-1. 特別養護老人ホーム

(1) 施設実績

| 年間稼働率

月	延べ人数						稼働率
	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4月	29	120	658	959	806	2,572	95.26%
5月	31	155	678	1,053	739	2,656	95.20%
6月	30	120	630	980	750	2,510	92.96%
7月	31	93	681	1,018	811	2,634	94.41%
8月	31	120	708	953	830	2,642	94.70%
9月	30	120	675	964	780	2,569	95.15%
10月	31	124	682	974	835	2,646	94.84%
11月	30	120	583	1000	823	2,556	94.67%
12月	31	155	613	1022	833	2,654	95.13%
1月	30	155	678	984	853	2,700	96.77%
2月	29	145	661	869	849	2,553	97.82%
3月	31	155	708	876	905	2,675	95.88%
計	364	1582	7,955	11,652	9,814	31,367	(平均)95.23%

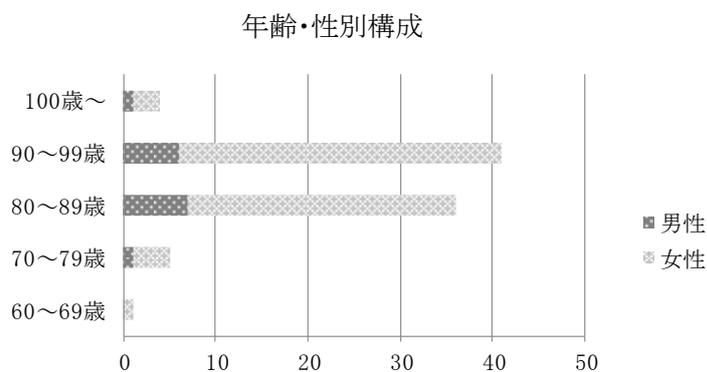
年間稼働率



(2) 入居者状況 (令和2年3月31日時点)

| 年齢・性別構成

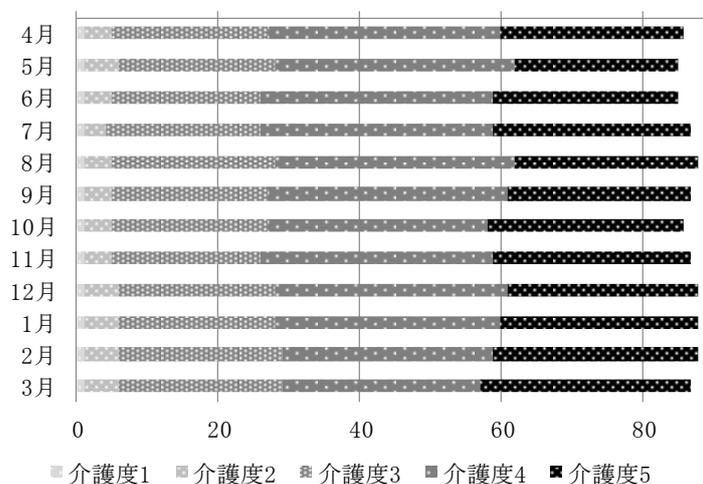
	男性	女性	計
60～69歳	0	1	1
70～79歳	1	4	5
80～89歳	7	29	36
90～99歳	6	35	41
100歳～	1	3	4
合計	15	72	87
平均年齢	89.4歳	89.7歳	89.7歳



| 性別・要介護度別入居者数 (数値は月末時点)

月	介護度1		介護度2		介護度3		介護度4		介護度5		合計	平均介護度
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
4月	0	1	1	3	4	18	9	24	4	22	86	3.92
5月	0	1	1	4	4	18	10	24	4	19	85	3.86
6月	0	1	0	4	5	16	8	25	5	21	85	3.93
7月	0	1	0	3	5	17	8	25	5	23	87	3.97
8月	0	1	0	4	6	17	7	26	5	21	87	3.91
9月	0	1	0	4	5	17	7	26	5	21	86	3.92
10月	0	1	0	4	5	17	6	25	5	23	86	3.94
11月	0	1	0	4	5	16	5	28	5	23	87	3.95
12月	0	1	1	4	6	16	5	28	4	23	88	3.91
1月	0	1	1	4	6	16	5	27	4	24	88	3.92
2月	0	1	1	4	6	17	5	25	4	25	88	3.92
3月	0	1	1	4	6	17	4	24	4	26	87	3.93

要介護別入居者数



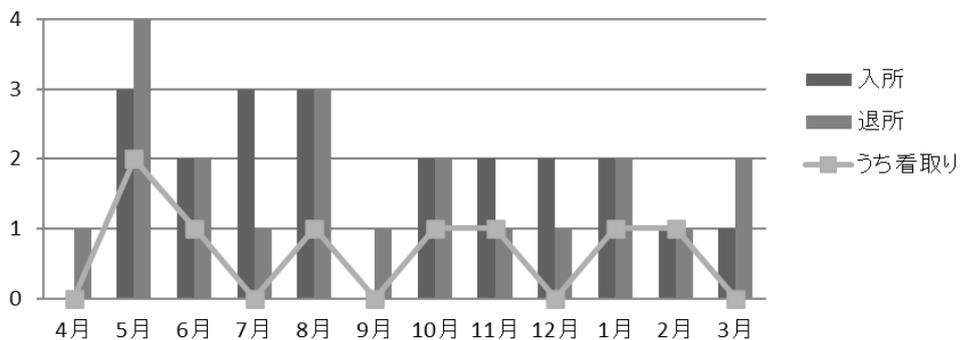
入所状況

No	日付	性別	年齢	入所前の居所
1	5月1日	女性	92	居宅
2	5月15日	男性	87	老健
3	5月22日	男性	84	居宅
4	6月12日	女性	91	老健
5	6月20日	女性	84	医療機関
6	7月2日	女性	97	高齢者住宅
7	7月23日	女性	91	高齢者住宅
8	7月30日	女性	97	居宅
9	8月5日	女性	82	居宅
10	8月21日	女性	95	医療機関
11	8月29日	女性	91	老健
12	10月7日	女性	88	老健
13	10月9日	女性	90	居宅
14	11月19日	女性	88	老健
15	11月20日	女性	88	居宅
16	12月18日	男性	80	居宅
17	12月19日	男性	90	居宅
18	1月7日	女性	87	居宅
19	1月21日	女性	88	居宅
20	2月6日	女性	87	居宅
21	3月26日	女性	84	居宅

退所状況

No	日付	性別	年齢	退所事由
1	4月26日	女性	77	呼吸不全
2	5月7日	女性	73	転所
3	5月20日	女性	91	腎不全(看取り)
4	5月23日	女性	94	肺炎(看取り)
5	5月27日	男性	84	呼吸不全
6	6月2日	男性	88	消化管出血(看取り)
7	6月14日	女性	95	入院のため
8	7月25日	女性	79	入院のため
9	8月1日	女性	91	急性心不全
10	8月23日	女性	99	急性腎不全(看取り)
11	8月28日	女性	97	腎不全
12	9月17日	男性	80	間質性肺炎
13	10月3日	女性	96	老衰(看取り)
14	10月21日	男性	82	急性心不全
15	11月28日	男性	94	誤嚥性肺炎(看取り)
16	12月18日	男性	84	長期入院のため
17	1月5日	女性	89	老衰(看取り)
18	1月5日	女性	85	急性肺炎
19	2月8日	女性	98	肺炎(看取り)
20	3月24日	女性	90	肺炎
21	3月30日	男性	86	長期入院のため

入退所状況



在苑期間

期間	男性	女性	計
～5年未満	11	50	61
5年以上～10年未満	3	18	21
10年以上～12年未満	0	1	1
12年以上～	1	3	4
計	15	71	87
平均在苑期間（年）	3.3	3.6	3.6

地域状況

	保険者	男	女	計
県内	千葉市中央区	9	43	52
	千葉市若葉区	1	3	4
	千葉市緑区	1	5	6
	千葉市美浜区	0	5	5
	館山市	0	1	1
	習志野市	0	1	1
	市原市	2	5	7
	勝浦市	0	1	1
	市川市	0	1	1
	船橋市	0	1	1
	八千代市	0	1	1
県外	東京都品川区	0	1	1
	東京都渋谷区	0	1	1
	東京都練馬区	1	0	1
	江東区	0	1	1
	江戸川区	0	1	1
	ふじみ野市	1	0	1
	筑西市	0	1	1
計	15	72	87	

利用料負担階層

-	人数	2割負担	3割負担
1段階	0	-	-
2段階	9	-	-
3段階	38	-	-
4段階	40	3	3
計	87	3	3

外泊状況

-	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	2	1	0	1	2	2	0	0	2	4	1	0	15
日数	3	4	0	1	5	2	0	0	4	7	1	0	27

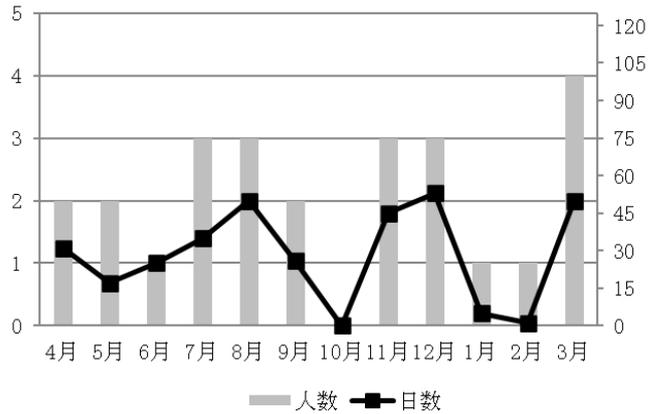
月例別入院状況

-	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
人数	2	2	1	3	3	2	2	3	3	1	1	4	25	2.1
日数	31	17	25	35	50	26	30	45	53	5	1	50	368	30.7

入退院状況

人数	入院日	退院日	入院日数	要介護度	性別	年齢	主な理由	病院	備考		
1	前年度	4月11日	10	4	女	94	大腸がん	千葉メディカル			
2	前年度	4月22日	21	4	女	88	右大腿骨骨折	千葉中央メディカル			
3	5月16日	5月29日	12	5	男	83	胃ろう皮下感染	千葉県循環器病センター			
4	5月22日	5月28日	5	5	男	86	前立腺肥大	千葉市立青葉病院			
5	6月5日	7月11日	35	4	男	93	心不全	柏戸病院			
6	7月1日	7月8日	6	5	男	84	胃ろう造設	ジェイコー千葉			
7	7月12日	9月2日	51	4	女	94	左大腿骨頸部骨折	千葉中央メディカル			
8	8月8日	8月20日	11	4	男	82	蜂窩織炎	千葉市立青葉病院			
9	8月23日	9月26日	33	4	女	88	尿路感染	千葉東病院			
10	10月1日	10月23日	21	4	女	89	食欲低下	千葉東病院			
11	10月6日	10月16日	9	4	女	95	尿路感染	徳洲会 HP			
12	11月12日	12月18日	36	4	男	83	胆のう炎	千葉労災病院	退所		
13	11月13日	12月5日	21	5	男	88	総胆管結石等	千葉医療センター			
14	11月20日	1月5日	46	3	女	84	右大腿部粉碎骨折	おゆみ野中央病院	死亡		
15	2月28日	3月11日	11	3	女	90	誤嚥性肺炎	千葉市立青葉病院			
16	3月6日	3月30日	24	4	男	86	肺炎	千葉中央メディカル	退所		
17	3月12日	3月18日	5	3	女	90	肺炎、脱水	千葉市立青葉病院			
18	3月12日	3月24日	11	3	男	94	ヘルニア手術	ジェイコー千葉			
			計 368 日	一人平均入院期間 20.4 日							

入院状況(月例)



| 認知症高齢者の日常生活自立度

—	人数
I	2
II a	5
II b	21
III a	30
III b	13
IV	14
M	2
計	87

| オムツ使用者の実人数

—	人数
日中におけるオムツの使用者	73
夜間におけるオムツの使用者	74

| 医療的ケアが必要な入居者数

—	人数
喀痰吸引(口腔)	0
喀痰吸引(鼻腔)	0
経管栄養(胃ろうのみ)	2

(3) 施設相談員・施設介護支援専門員

施設相談員報告

- ・ 入所前調査において個々の個性や生活習慣を把握し、入所後には他職種連携の入居者様1人ひとりの生活を尊重したケアを提供するよう努めた。
- ・ 入居者様の日常において、体調変化・常勤医との面談・苑内外受診・救急対応外出(合同レク)・物品購入依頼などご家族様との連絡・調整に努めた。
- ・ 入居者様の入院・退院時の病院との連絡・調整に努めた。
- ・ ユニットカンファレンス(担当者会議)に参加し、入居者様の状態把握や家族への連絡・協力体制の整備に努めた。
- ・ 法話会をはじめユニット毎の行事や合同レク・ミュージックケア・リハビリレク書道クラブ・ひろの会・編み物クラブなどを通し、自ら選択することや自己決定

することで、ご自分らしく生活できるよう支援した。

- ・ 個々の生活空間である居室の整頓や、清潔で居心地のよい環境作りに努めた。
- ・ 入居者様・ご家族様からの苦情・相談に対し相談内容の把握・調査のため、共感とともに話しを一通り聴くことにより解決に繋げ、入居者様・ご家族様への処理内容の報告説明、その後の経過観察に努めた。
- ・ 入居者様の 1 ヶ月以上の入院が見込まれる場合は一旦退所とし、その後の退院時にはショートステイで受入れ可能な体制をとり、時期入所のスムーズな入り所を行った。
- ・ 施設での看取り介護を希望されたご本人様・ご家族様に対し「淑徳共生苑看取り指針」を提示し他職種同席の元、説明・同意書を取るように日時を設定し開催した。また、看取り介護前後の家族の関わりや終了後の段取りや流れについて説明・調整・協力を努めた。
- ・ 苑内外研修会や勉強会を通し、専門的知識や技術のレベルアップと専門職としての資質向上に努めた。

施設介護支援専門員報告

- ・ 新規入所者も多く、入所者様、ご家族様が共生苑での暮らしを「ご自分らしく」安心して過ごせるよう、お1人おひとりに寄り添うケアマネジメントに努めた。また、現在入所中の方々へは、新たな「思い」や「希望」を大切に、お話を傾聴し、叶えられるように他職種と検討し取り組んだ。
- ・ 看取りをご希望の方には、ご本人が今までに語られた「人生の過ごし方」やご家族の「思い」を大切に、最期のときまで尊厳ある時間が過ごせるようこまめにお話し（カンファレンスを含む）を伺い、また各職種とも連携を図り、状況変化に応じたマネジメントに取り組んだ。また、看取りの振り返ることで、ご本人様やご家族様への関りを見つめなおすことができた。
- ・ 介護保険要介護認定更新の代行申請を行った。また認定調査については、保険者からの依頼により、調査を実施した。
- ・ ケアプランについては、6 ヶ月に1回を基本に見直し、適切なマネジメントを行う。また、入院や状態変化における見直しについても積極的に行った。その過程では、ご本人様やご家族様とのカンファレンスや他職種との連携を大切に、全職

種で皆さまの生活を支えるプランニングに取り組んだ。

- ・ 苑内での行事やレクリエーション、毎週金曜日の法話会や各ユニット主催のレクに参加し、入所者様の普段とは違う一面に触れながら、「その人らしさ」をみつけられるように一緒に過ごす時間を大切にしてきた。また、ご家族様とも積極的にお話しをさせて頂き、関わりを多く持てるように努めた。
- ・ 苑内外の研修に参加し、専門知識や技術の向上に努めた。

(4) 施設看護

- ・ 施設医療において、健康に生活できるレベルを保つこと、疾患に対して少しでも苦痛を取り除く事を最優先に考え、常勤医師との連携に努めた。
- ・ 施設看護体制の中で、糖尿病のインスリン注射及び内服管理・血糖コントロール・バルン留置（膀胱瘻含む）・胃瘻・癌治療（前立腺癌注射・疼痛管理・CTなどでの経過観察）・骨量検査・医師の指示のもとで看護師ができる範囲の医療を昨年同様提供できている。熱症状に対する対応としては、肺炎や熱の受診が上位を占めているが、そのほとんどは、ご自分の居室で内服を中心とした治療をする事ができている。また、疾患の程度によっては、診療所での点滴治療が可能であり、内服と点滴治療でほとんどが回復され、他への感染もなく至っている。その結果として、入院者の人数も減少しており、看護としては、介護・他職種との情報連携を円滑に行い必要とされる医療を提供する事で、早期治療・早期回復を可能とし、いつもの生活に早く戻していくという目標に少しでも近づけたのではないかなと思う。
- ・ 看取りを含め、24 時間（夜間オンコール）における急変者・体調不良者対応についても、日頃の健康状態の把握や回診等・医師との連携などにより適切かつ迅速な対応に努める事が出来た。また、救急搬送・他病院受診付添い等に関しても、命に係わる責任と認識を常に持ち、誠心誠意の気持ちで対応していった。さらに、より知識を深めるための研修会・勉強会の参加、他職種とのカンファレンスや家族との話し合い等、より良い対応をめざした。
- ・ 健康診断・体重管理・薬剤管理等、定期的を実施し、健康管理に努めた。
- ・ 訪問歯科との情報を共有し、口腔予防衛生への取り組みもできた。

| 淑徳おゆみ診療所受診状況

受診内容	延べ人数
整形(打撲・骨折)骨粗鬆症関係	119人
肺疾患関係・熱など	128人
泌尿器・バルン関係	52人
糖尿・消化器・栄養関係	91人
循環器関係	10人
頭痛・脳疾患関係	8人
処置・皮膚疾患	57人
計	465人

| 訪問歯科受診状況

月	診療回数	受診人数(延べ)
4月	5回	22人
5月	5回	27人
6月	4回	23人
7月	4回	18人
8月	3回	16人
9月	5回	28人
10月	6回	27人
11月	4回	30人
12月	4回	20人
1月	3回	17人
2月	4回	22人
3月	4回	19人
計	57回	269人

| 他医療機関受診状況

診療科	受診人数(延べ)
内科	25人
神経内科・精神科	11人
眼科	10人
癌関係	4人
皮膚科	35人
ペースメーカー管理	1人
診療科	受診人数(延べ)
耳鼻科	12人
整形外科	38人
胃瘻	3人
泌尿器科	6人
脳外科・外科	5人
循環器	4人
計	154人

機能訓練計画について

- ・ 苑内集団活動リハビリとして、外部講師による音楽療法・体操を含めたリハビリレクリエーション、アロマオイルなどを使用したハンドマッサージ、職員が担当して行う合同レク(外出レク、おやつレク、出前レク、カラオケ、季節の行事)等、毎月定期的にも実施されている。また、他職種連携・協力のもと、筋力低下予防や、認知面の悪化予防、生活の質の向上等をめざし、より多くの入居者様が参加できるようにした。
- ・ 各ユニット内での活動として、テレビ体操の利用・歌・個別でのユニット内歩行・

散歩・洗濯たたみ・ぬり絵や折り紙等、スタッフとともにできる生活の中で多くの楽しみを作り健康増進に役立てた。

- ・ 臥床時間の長期化における筋力低下を予防するため、寝たきりにしないように努めた。また、口腔内の衛生（訪問歯科との情報共有・研修参加）栄養管理として食事摂取状態の観察等も併せて行った。
- ・ 実習生・ボランティアによるレクリエーション実施した。

（５）機能訓練

① 個別機能訓練実施状況

当施設での機能訓練として、生活リハビリを主とした取り組みを継続している（個別機能訓練加算の算定）。

具体内容

- ・ 1日1～2ユニットでの機能訓練実施を基本とし、月～金の5日間で9ユニット（長期入所の全ユニット）の介入を行っている。
- ・ 機能訓練対象者の作業療法士による個別対応は週1回としている。身体状況により個別対応回数は変化するものとする。
- ・ 非常勤理学療法士による介入は月2回、作業療法士とユニットをローテーションで回ることとしている。
- ・ 他職種との連携により生活リハビリの推進を行い、日々の生活の中での機能訓練を実施している。
- ・ 合同レクでのリハビリ体操や、ユニット内での体操・レクの実施を機能訓練の一環として行っている。



- ・ 新規入所者のご家族様へは、個別機能訓練加算の算定を開始する旨を基本的には入所時に説明を行い、同意を得たご入居者様より算定を開始している。
- ・ 個別機能訓練実施計画書を主に作業療法士が作成をし、ユニットスタッフと

共同して目標設定、プログラムの見直しを実施した。

機能訓練対象者数

ユニット名	介入人数
古里	10名
大海・河川	20名
秀峰・野鳥	19名
名山・野原	19名
星空・大空	18名
計	86名

② 記録・情報共有

- 機能訓練実施・経過記録：作業療法士がご利用者の基本情報や日々の機能訓練の経過をPC上に記載する。
- 機能訓練業務日誌：ユニット向けの記録を作成。介入したご利用者の状態変化や、ユニットへのケア変更や自主トレーニングなどの依頼がある場合に記載をする。
各ユニット・看護部へ配布し、他職種には回覧にて情報共有を図る。
- 個別の運動プログラム：必要性の高いご利用者様へは、作業療法士より自主トレーニングメニューを作成し、日々の運動習慣を促している。
- ポジショニングシート：ベッド上や車椅子上での安楽姿勢を図る為に、必要度の高いご利用者様へはポジショニングシートを製作し、統一したポジショニングが行えるよう提示する。
- 総合記録シート：ユニットで使用している総合記録シートのリハビリ欄（「レク」「生活リハ」「OT」）を活用し、ユニットで行った際に丸をつけるようにする。OTの欄は作業療法士介入時に丸をつける。

③ リハビリ会議の実施

- ・ 頻度： 3月に1回、第2金曜日に開催。(開催日：5/10、8/9、11/8、2/14)
- ・ 参加者：介護長、生活相談員、看護師、ケアマネジャー、各ユニットリーダー、理学療法士、作業療法士

具体内容

- ・ 作業療法士から機能訓練の現状と介入状況についての報告
- ・ 各ユニットからの意見
- ・ 他職種からの意見
- ・ 今後の方向性について
- ・ 検討事項(情報共有の仕方、記録・申し送りについてなど)

④ 研修の実施

- ・ 作業療法士から「個別機能訓練加算について」の苑内研修を実施した(6/18)。
- ・ 理学療法士から「トランスについて」の苑内研修を実施した(1/24)。

(6) 栄養

令和元年度は、前年度に引き続き多職種会議・カンファレンス等をもとに栄養ケアマネジメントを実施し、栄養状態の維持を目指した。ご家族様や他職種と情報を共有することで、入居者様にとってより良いケアに取り組むことができた。

また、食事に関するレクリエーションは担当職員と協力をして内容にも工夫を凝らし、前年度より充実したものを行うことができた。食べ物以外にもテーブルコーディネート等の工夫も行い、食を楽しむ空間の提供を行うことが出来た。

淑徳大学看護栄養学部の臨地実習を今年度も引き受けたが、前年度と実習内容が変更となり、『大量調理の基礎と高齢者施設における調理の特徴の理解』を実習内容の課題とし指導を行った。

| 栄養管理状況

形態等	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	塩分相当量 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	VA (μ gRE)	VC (mg)
常食(米飯)	1,650	65.0	44.0	248.0	8.3	650	7.0	700	100
常食(全粥)	1,500	59.3	40.0	225.4	8.3	650	7.0	700	100

食事摂取基準	1,650	63.0	45.0	248.0	8.3	650	7.0	700	100
--------	-------	------	------	-------	-----	-----	-----	-----	-----

食事摂取基準は日本人の食事摂取基準（2015年版）をもとに、淑徳共生苑特別養護老人ホームに入所されている利用者の年齢・性別・身体レベルから算定。

| 栄養摂取状況

月	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	塩分相当量 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	VA (μ gRE)	VC (mg)
4月	1628	57.6	44.6	241.4	7.8	506	6.3	695	106
5月	1641	56.8	45.9	242.1	7.7	492	5.5	650	99
6月	1614	57.9	44.8	237.3	8.4	489	6.1	665	104
7月	1638	56.7	44.5	244.9	7.9	485	5.5	693	112
8月	1642	57.4	46.9	240.2	8.3	499	6.2	620	104
9月	1649	57.2	46.6	242.8	7.9	511	6	665	100
10月	1660	57.9	46.7	244.2	8.1	509	6.2	660	103
11月	1644	57.8	45.4	242.9	7.6	490	6.3	652	99
12月	1,656	57.4	46.3	244.7	8	503	6.1	692	107
1月	1,636	57.2	44.3	243.4	8.1	498	6.3	633	103
2月	1,625	56.1	45	241	7.7	497	5.9	666	102
3月	1,651	56.9	47.2	241.1	7.7	517	6.2	714	108
計	19,684	692	558.3	2,898.3	104.5	6,092	75.1	8,085	1,211
平均	1,640	57.7	46.5	241.5	8.7	508	6.3	674	101

| 行事献立実施状況

月	日	内容
4月	16日	おやつレク（どら焼き）
	17日	降誕会行事食（竹の子ごはん・魚の煮付け・茶碗蒸し）
5月	9日	おやつレク（デザートバイキング）
	13・14日	昼食レク（母の日バイキング）
	24日	昼食レク（稲荷寿司）
6月	6日	父の日レク（居酒屋）
	19・20日	父の日レク（父の日御膳）
7月	5日	盂蘭盆会行事食（稲荷寿司・天ぷら）
	12日	おやつレク（お誕生日会）
	21日	納涼祭（焼きそば・焼き鳥・フルーツゼリー）
8月	7日	昼食レク（バーベキュー）

	20～22日	おやつレク(かき氷)
9月	16日	敬老会行事食(赤飯・天ぷら盛り合わせ・かつおのたたき)
	17・18日	おやつレク(和菓子)
	30日	昼食レク(よせ鍋)
11月	14・21日	おやつレク(焼き芋)
12月	6日	成道会行事食(まぐろの刺身・天ぷら盛り合わせ・茶碗蒸し)
	24日	おやつレク(パンケーキ)
	25日	クリスマスメニュー(エビピラフ・フライ2種・ケーキ)
	27日	もちつき
	31日	年越しそば
1月	1日	おせち(赤飯・おせち料理)
	7日	七草粥
	16・22日	昼食レク(よせ鍋)
2月	7日	涅槃会(ちらし寿司・赤魚の粕漬け焼き・いちご)
	10日	昼食レク(海苔巻き)
	13日	おやつレク(バレンタイン)
	25日	昼食レク(お誕生日会)
3月	3日	桃の節句行事食(ちらし寿司・天ぷら・ようかん)
	10日	おやつレク(和菓子)
	12日	おやつレク(お誕生日会)



父の日御前



クリスマスケーキ



お誕生日会

(7) 各ユニット

2階「古里・里山」(里山は短期入所)

今年度は、職員 1 人ひとりが責任を持ち、介護技術の向上を図り、入居者様への寄り添いの気持ちを忘れず、質の良い生活を送れるよう努めるという事を目標に取り組んできた。

日々のケアに追われながらも、どのようにしたらその方に合った良いケアが行えるのか、安心して安全な生活をして頂くために、ユニット職員のマンパワーの底上げや共通理解を得るための職員間でのコミュニケーション強化にて、1つのチームとして、入居者様への対応を実施することに努めた。

来年度は、職員のやりがいや責任を引き続き課題とし、入居者様と共に笑顔の多い日常生活を送れるよう支援していきたい。

年間行事 (全体行事は P9~に記載)

ユニット	月	ユニット内行事	内容
古里・里山	4月	お花見 いちご狩り	ドライブをしながら大巖寺へ行く 地元のいちご園へいちご狩り
	5月	母の日レク	女性入居者へ花のプレゼント
	6月	外出レク	青葉の森へ花鑑賞と散歩
	7月	七夕、納涼祭	笹を飾り、短冊に願い事を書く 毎年恒例の夏祭り
	8月	花火大会	生実町納涼花火を鑑賞
	9月	敬老会	長寿の方を祝う
	10月	運動会	入居者・職員が競技に参加
	11月	焼き芋	合同レクで焼き芋を食べる
	12月	クリスマス会 餅つき	入居者とクリスマスの飾りを飾る 餅つき大会に参加
	1月	初詣	苑内の手作り神社、大巖寺へ参拝
	2月	節分 101歳のお祝い	豆まき 101歳を迎えた入居者様のお祝い

2 階「大海・河川」

前年度に引き続き、スタッフ 1 人ひとりが仕事に対してやりがいと責任感を持ち入居者様が笑顔でその人らしく、望んでいる日常生活ができるよう支援する事を目標に取り組んできた。スタッフそれぞれがニーズの把握に努め、日々のケアについて質の向上、安全かつ安心できる環境の提供について考え良いケアができるように意見を出し合いケアの変更や環境整備を行った。状態変化により看取り介護となった入居者様に対し、その時にできる最善のケアを多職種含め考え、実施することができた。

年間行事（全体行事は P9～に記載）

ユニット	月	ユニット内行事	内容
大海・河川	4 月	いちご狩り・鯉のぼり	外出（合同レク）
	5 月	母の日	母の日を祝う（合同レク）
	6 月	父の日レク	サイフォンにて居酒屋風におやつ提供（合同レク）
	7 月	七夕・スイカ割・納涼祭 昼食作り（お好み焼・焼きそば）	短冊に願いを書く・スイカ割をする・苑内行事 昼食にホットプレート使い調理
	8 月	花火	生実町花火大会鑑賞
	9 月	敬老会	苑内行事
	10 月	買い物（合同）	外出（合同レク）
	11 月	昼食作り（餃子）	昼食に餃子作り
	12 月	餅つき・柚子湯・出前	苑内行事・入浴時柚子を浮かべる・昼食寿司の出前
	1 月	苑内初詣・大巖寺初詣（合同） 最高齢者の誕生祝い	苑内行事・かるたとり（合同レク） 誕生会（昼食にケーキ・オードブル・ちらし寿司）
	2 月	昼食作り（巻き寿司）	昼食に巻き寿司作り
	3 月	花見	大巖寺に花見（合同レク）

3階「秀峰・野鳥」

今年度は、ユニットとしての行事・特別なレクリエーションを実施する機会を設けることが少なくなりました。またユニット会議等の話し合いの機会を設けることも減ってしまいました。レクリエーションについては、大きなことができない分、日常の中の空いた時間に短時間でも行えるように意識し、会議についても、話し合いの場は減ってしまいましたが、日常のスタッフ間のコミュニケーションを大切にし、そこから入居者様のより良いケアを模索、検討し、生活の質の向上に努めた。

年間行事（全体行事は P9～に記載）

ユニット	月	ユニット内行事	内容
野鳥・秀峰	4月	いちご狩り	いちご狩りへ外出する。
	6月	青葉の森へ外出 父の日	青葉の森へ外出する。 父の日として男性の入居者様をねぎらう。
	7月	100歳お誕生日会 納涼祭	100歳を迎えた入居者様のお祝いを行う。
	8月	かき氷り・すいか割り	かき氷りの提供 すいか割りを楽しんで頂く。
	9月	敬老会	敬老の日のお祝いを行う。
	10月	運動会 買い物外出	運動会を行う。ユニモに外出する。
	11月	焼き芋	焼き芋の提供を行う。
	12月	餅つき	餅つきを行う。
	1月	苑内初詣・大巖寺初詣	大巖寺へ初詣に外出する。
	2月	節分	豆まきを行う。
	3月	101歳お誕生日会	101歳を迎えた入居者様のお祝いを行う。

3階「名山・野原」

職員の人材不足が徐々に深刻化し、大変な時期も多々あったが、その中でも入居者様に寄り添う姿勢を大切に、居心地の良い環境作りに努力した。ユニットで行うレクリエーションがなかなかできなかつたので、次年度は、入居者様の声を反映できるよう取り組んでいきたい。また、職員の思いをしっかりと受け止め、人材育成に役立てることができるよう職員間の連携を密にすることが課題として残った。

年間行事（全体行事は P9～に記載）

ユニット	月	ユニット内行事	内容
名山・野原	4月	花見	お花見
	5月	母の日・菖蒲湯・昼食レク	母の日を祝う・菖蒲湯に入る・お寿司を出前
	6月	父の日・梅ジュース	父の日を祝う・梅ジュースを作る
	7月	七夕	七夕飾りをする
	8月	おやつレク	すいかを食べる
	9月	敬老会	苑内行事として開催される
	10月	運動会	苑内行事として開催される
	11月	焼き芋	苑内行事として開催される
	12月	ゆず湯、クリスマス	ゆず湯に入る、クリスマスツリーを飾る
	1月	お屠蘇・初詣	苑内行事
	2月	節分	豆まきをする
	3月	ひな祭り、100歳の誕生日会	苑内行事、100歳のお祝いをする

4階「星空・大空」

スタッフ 1 人ひとりが入居者様との日々のコミュニケーションをとる中でニーズを把握し、ケアの向上を目指し、皆様が笑顔で過ごせるよう努めた。

今年度はスタッフの入れ替えも多く、いつも以上にコミュニケーションを密に取り入居者様への想いやニーズを皆で共有し、スタッフ 1 人ひとりが意識を持って入居者様の生活の向上のために情報を共有に努めた。

年間行事（全体行事は P9～に記載）

ユニット	月	ユニット内行事	内容
星空・大空	4月	花見ドライブ	桜を見にドライブへ行く
	5月	外出レク	買い物に行き、おやつを食べる
	7月	納涼祭	入居者の交流を図る
	8月	花火・かき氷レク	生実町納涼花火を鑑賞
	9月	敬老会	入居者の交流を図る
	10月	運動会	ホールにて運動会実施。
	11月	焼き芋レク	おやつに焼き芋を食べる。
	1月	苑内初詣	苑内にて初詣実施。
2月	節分、鍋レク	ユニットにて節分を行い・鍋を食べる。	

7-2. 短期入所者生活介護事業所（ショートステイ）

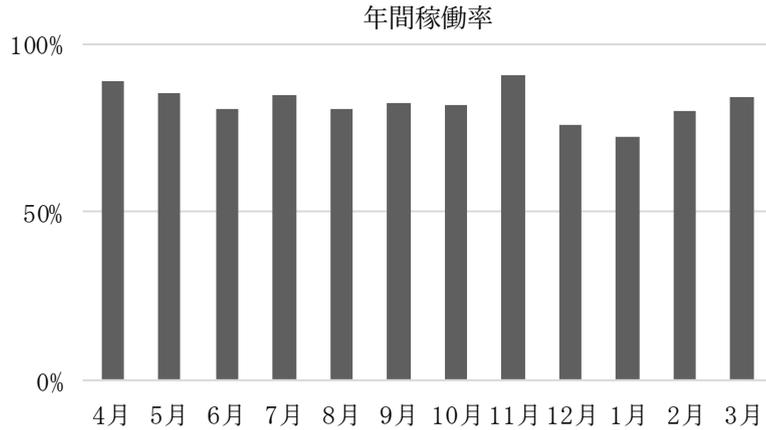
今年度も昨年度から取り組んでいた、利用者が日々穏やかに生活できる環境作りを継続的に行い、居室内環境の見直し、生活の場所としてのリビングのしつらえの設定（テーブル・ソファ・テレビなどの配置の仕方）を検討し、利用者様が集まり語りながら過ごせる居場所作りに取り組み、定期的にご利用される利用者様の方々は徐々に施設内の環境にも慣れてきたようであった。また、利用者様お一人ひとりに職員が関わる時間ができる時間は限られているため、居室で過ごす時間が多い方も日中はリビングで過ごしていただけるよう声かけし、職員が仲介役となりレクリエーションや体操を通し交流を図ることで全体的に見守りを行えるよう工夫した。

この2点の取り組みを継続したことにより、しばらくすると利用者様同士が部屋を行き来し、声をかけあいリビングで過ごす時間が増え、関係の構築もみられ、徐々に余暇活動を楽しまれる姿が増えてきた。

今年度は、冬の感染症の流行時期でも感染症等に罹患する利用者様は、いらっしゃらなかったものの、年間平均の稼働率としては、前年度に比べ微減となった。次年度も、在宅のケアマネジャーや多職種とのさらなる連携を図り、また、共生苑デイサービスとの利用者情報の共有を図り、食事・排泄・入浴などの基本的な部分で介助に変化がないように努め、次年度も利用者様が穏やかに生活できる環境を 考え、安全に効率よく運営できるよう取り組んでいきたい。

(1) 年間稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	0	4	95	25	46	23	53	246	82.0%
5月	0	4	85	35	49	24	62	259	83.5%
6月	0	4	59	31	59	12	61	226	75.3%
7月	0	9	66	23	68	11	62	239	77.1%
8月	0	8	76	23	96	5	66	274	88.4%
9月	0	6	74	24	88	15	67	274	91.3%
10月	0	7	70	40	81	9	41	248	80.0%
11月	0	4	71	27	94	11	32	239	79.7%
12月	0	6	91	20	80	10	35	242	78.1%
1月	0	3	52	54	76	5	33	223	71.9%
2月	0	0	37	64	115	7	7	230	79.3%
3月	0	3	41	46	84	18	28	220	71.0%
計	0	58	817	412	936	150	547	2920	(平均) 79.8%



(2) 利用者状況 (令和2年3月31日時点)

利用者年齢・性別構成

年齢	男性	女性	合計
60～69歳	0	0	0
70～79歳	1	7	8
80～89歳	2	7	9
90～99歳	2	7	9
100歳～	0	0	0
計	5	21	26

利用者地域 (保険者)

地域	男性	女性	合計
中央区	4	15	19
緑区	0	0	0
若葉区	1	4	5
美浜区	0	0	0
稲毛区	0	1	1
その他	0	1	1
計	5	21	26

性別・要介護度別利用者数

介護度	男性	女性	合計
要支援1	0	0	0
要支援2	0	1	1
要介護1	0	7	7
要介護2	1	4	5
要介護3	2	3	5
要介護4	2	2	4
要介護5	0	4	4
計	5	21	26

契約状況

月	新規	中止	中止理由	増減	継続
4月	0	0		0	78
5月	1	0		1	79
6月	1	1	長期入院	0	79
7月	1	0		1	80
8月	3	0		3	83
9月	2	0		2	85
10月	0	1	長期入院	-1	84
11月	0	1	長期入院	-1	83
12月	2	1	他施設入所	1	84
1月	0	0		0	84
2月	2	1		1	85
3月	2	2		0	85
計	14	7		7	989

7-3. 通所介護・認知症対応型通所介護事業所（デイサービス）

令和元年（平成31年）度は10月の消費増税及び介護報酬改定に伴い、当事業所も基本介護報酬の変更・一部加算の追加を実施した。9月から各家庭及び各居宅介護支援事業所に事前に通達を行っていた為、大きな混乱もなく移行する事が出来た。

今年度、特徴として感じられたのは家族のケアも今まで以上に必要になってきているという事である。また、精神疾患や高次脳機能障害など認知症とは異なったアプローチが必要となる利用者の増加があった。

稼働率に注目すると利用者への入れ替えや契約変更がやや多いように感じた。家庭の事情によって入所される方だけでなく、長期の入院などにより利用終了となるケースが多かった。

年度の終盤にかけては新型コロナウイルスという未知の感染症の世界的流行により、利用を控えられる方や新規の契約・見学等の減少があった。

職員の入れ替えも多く、より良い人材の確保と長期的に勤務してもらえる環境作りに力を入れる必要を改めて感じた。

今後の政府や自治体の動向を各事業所と情報共有を図りながら、地域で必要とされる・地域に選ばれる事業所でありたい。

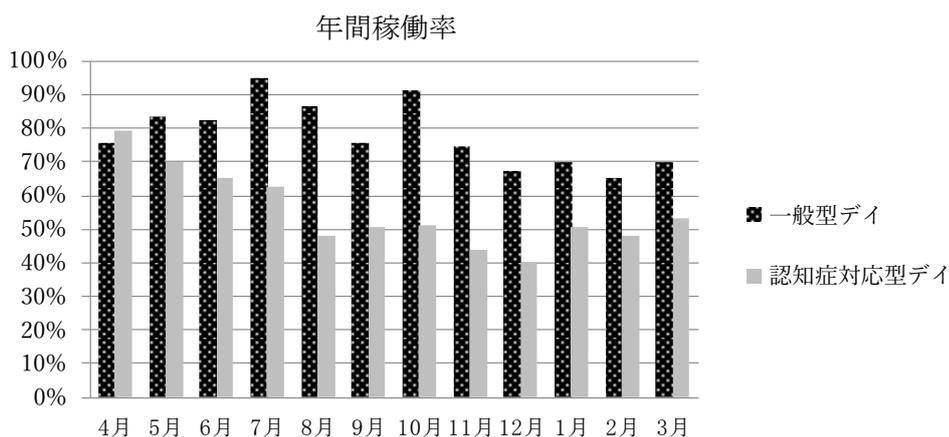
(1) 年間稼働率

一般型デイサービス稼働率

月	延べ人数						稼働率
	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	146	214	94	36	3	493	75.8%
5月	156	219	105	39	3	522	83.5%
6月	167	197	80	47	4	495	82.5%
7月	198	227	87	55	1	568	94.7%
8月	202	218	99	42	3	564	86.8%
9月	155	203	84	47	3	492	75.7%
10月	151	230	123	42	1	547	91.2%
11月	150	227	93	31	1	502	74.4%
12月	146	201	90	16	0	453	67.1%
1月	155	202	75	4	0	436	69.8%
2月	152	201	57	29	0	439	65.0%
3月	142	182	76	49	5	454	69.8%
計	1920	2521	1063	437	24	5965	(平均) 77.7%

認知症対応型デイサービス稼働率

月	延べ人数						稼働率
	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4月	0	28	26	42	110	206	79.2%
5月	0	13	0	42	120	175	70.0%
6月	0	12	12	43	90	157	65.4%
7月	0	12	10	44	84	150	62.5%
8月	8	20	5	46	46	125	48.1%
9月	8	39	0	48	36	131	50.4%
10月	0	11	22	62	28	123	51.3%
11月	0	19	18	51	30	118	43.7%
12月	0	21	17	44	27	109	40.4%
1月	0	19	29	53	26	127	50.8%
2月	0	23	22	53	31	129	47.8%
3月	0	22	30	58	29	139	53.5%
計	16	239	191	586	657	1689	(平均) 55.0%



(2) 利用者状況 (令和2年3月31日時点)

契約状況

月	一般型デイ					認知症対応型デイ				
	新規	中止	中止理由	増減	継続	新規	中止	中止理由	増減	継続
4月	3	0		3	51	0	1		-1	10
5月	1	0		1	52	0	0	入院	0	10
6月	1	2	入所1、私用	-1	51	0	0	入院	0	10
7月	1	1	認知デイ1、	0	51	1	0	入院	0	11
8月	2	1	入院1	1	52	1	1	入院	-1	9
9月	0	2	認知デイ2	-2	50	3	1		2	11
10月	2	0		0	52	0	0	死亡	0	11
11月	1	1	死亡1	0	52	1	1	施設入所	0	11
12月	0	2	施設入所2	-2	50	0	0	死亡	0	11
1月	2	4	入所1死亡2認知1	-2	48	2		死亡	2	13

2月	1	4	入所3 自己都合1	-3	45	0	1	入所2、入院1	-1	12
3月	3	2	入院2	1	46	0	0	死亡1、入所1	0	12
計	17	19		-2	600	12	13		2	131

要介護度別利用者

要介護度	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
要支援1	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0
要介護1	4	12	0	0
要介護2	5	12	1	2
要介護3	4	6	1	2
要介護4	0	3	2	2
要介護5	0	1	0	2
計	13	33	4	8

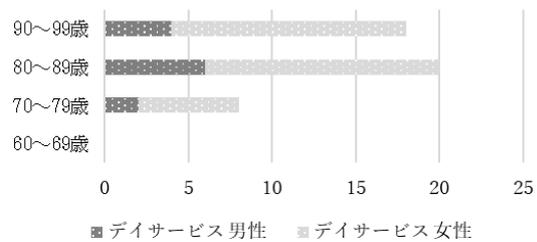
利用者地域（保険者）

地域	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
中央区	9	32	4	5
緑区	2	1	1	
若葉区	0	1	0	1
その他	1	0	0	0
計	12	34	5	7

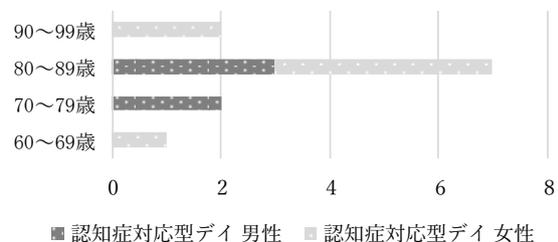
利用者年齢・性別構成

年齢	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
60～69歳	0	0	0	1
70～79歳	2	6	2	0
80～89歳	6	14	3	4
90～99歳	4	14	0	2
計	12	34	5	7

デイサービス利用者 年齢構成



認知症対応型デイ利用者 年齢構成



(3) 年間レクリエーション

レク一覧

月	行事
4月	お花見ドライブ ティーパーティー 生実町慰問（みつる会）
5月	菖蒲湯 母の日バイキング（昼食）
6月	シルバームーン（カラオケボランティア） 父の日カフェ（おやつ）
7月	七夕写真撮影会 暑中見舞い作り
8月	バーベキュー かき氷

回数

月	昼食・おやつ	ミュージックケア リハビリレク	書道	生花	苑内レク	外出レク	合計
4月	2	3	1	1	0	4	11
5月	2	3	1	1	0	0	7
6月	2	4	1	1	0	0	8
7月	0	4	0	0	0	0	4

9月	敬老会 シルバームーン（カラオケボランティア）
10月	デイ運動会 お好み焼き作り
11月	文化祭 鍋パーティ
12月	クリスマス会 餅つき会 シルバームーン（カラオケボランティア）
1月	新年会 鍋パーティ
2月	節分・豆まき おやつバイキング（バレンタイン）
3月	お花見ドライブ

8月	4	3	0	0	0	0	7
9月	2	4	1	0	0	0	7
10月	1	3	1	1	1	0	7
11月	1	4	1	1	7	0	14
12月	1	4	1	1	3	0	10
1月	4	3	1	1	0	0	9
2月	1	4	1	0	2	0	8
3月	1	0	1	0	0	6	8
計	21	39	10	7	13	10	100

7-4. 居宅介護支援事業所

事業所の体制について、年度開始当初は常勤2名体制であったが、10月以降は常勤3名体制となり、令和2年1月より特定事業所加算Ⅲを取得した。

今年度は、“最期まで住み慣れた家で過ごしたい”という利用者やご家族の思いに寄り添って、急激に状態変化していく中で支援を行い、病院ではなく在宅で看取りを受けた方が何名かいらっしやった。

また、家族のいない一人暮らしの方、認知症による周辺症状の悪化した方、家族が精神疾患をお持ちの方等、難しいケースも増えている。個々に担当しているケースではあるが、週に1度の定例会議やケース会議等を通して、事業所内での情報の共有を図ってきた。圏域内の研修や事例検討会に積極的に参加し、他の居宅介護支援事業所とも関係を深めてきた。

今後も、あんしんケアセンター、行政、地域住民やサービス事業所等とともに、利用者の支援を行っていく。

(1) 実績

月	職員数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	2	2	7	31	13	7	4	5	69
5月	2	1	7	27	13	8	4	9	69
6月	2	1	8	30	12	9	4	5	69
7月	2	1	8	30	11	10	4	4	68
8月	2	1	8	30	8	10	5	4	66
9月	2	2	7	30	9	10	4	4	66
10月	3	2	6	32	11	10	4	3	68
11月	3	2	5	33	10	10	4	3	67
12月	3	2	5	33	10	10	4	3	67
1月	3	2	6	35	8	8	3	2	64
2月	3	3	7	36	7	8	4	2	67
3月	3	2	7	34	7	10	5	3	68
計	30	21	81	381	119	110	49	47	808

(2) 登録者状況（令和2年3月31日時点）

登録者数

性別	予防給付	介護給付	計
男性	5	19	24
女性	5	50	55
計	10	69	79

登録者世帯状況

世帯	人数
独居	16
夫婦	28
子ども世帯同居	34
他親族同居	1
計	79

(3) 認定調査受託

受託件数	保険者
22件	千葉県：千葉市若葉区2件 市原市5件 館山市2件 習志野市2件 東京都：品川区3件 練馬区4件 調布市1件 埼玉県：川口市2件 吉見町1件

(4) 研修等参加

月	日程・内容・参加人数
6月	14日 浜野圏域事例検討会（あんしんケアセンター浜野主催） 2名 22日 淑徳共生苑認知症対応型通所介護 運営推進会議 1名
7月	12日 中央区介護支援専門員研修 2名
10月	2日 中央区介護支援専門員研修 1名 10日 浜野圏域事例検討会（あんしんケアセンター浜野主催） 3名
11月	16日 淑徳共生苑認知症対応型通所介護 運営推進会議 1名 28日 事業所合同事例検討会 3名
12月	12日 居宅介護支援専門員現任研修 2名
1月	10日 浜野圏域事例検討会（あんしんケアセンター浜野主催） 3名 ※事例提供担当 30日 浜野圏域多職種連携会議 2名
2月	4日 高齢者虐待防止研修（あんしんケアセンター浜野主催） 3名

7-5. 淑徳おゆみ診療所

令和元年度の新患登録数は331名であった。入居者ご家族や近隣の方々のご利用だけでなく泌尿器科を求めて遠方より来て下さる方や千葉県がんセンターとの地域連携診療計画による来院も増加している。

実績報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
開院日数	25	24	25	26	23	23	25	24	24	23	23	25	290	
延べ患者数	886	791	905	911	876	790	1,057	1,206	991	792	762	788	10,755	
内 入居者	内健診 (入居者含む)	90	21	138	58	61	24	244	422	131	19	8	6	1,222
	診察	84	83	67	83	113	81	76	66	98	56	69	91	967
	処方	250	256	237	280	224	247	245	220	263	274	233	246	2,975

主な出来事

4月	入居者定期健康診断
5月	保育園・幼稚園児健康診断
6月	職員健康診断
7月	大巖寺幼稚園職員健康診断
8月	慈光保育園職員健康診断
11月～12月	インフルエンザ予防接種
12月	職員健康診断（夜勤者）
4月～翌年3月	肺炎球菌予防接種（定期接種・市独自事業）
5月～翌年2月	千葉県特定健診・がん検診
他	淑徳大学実習前健診・慈光保育園特定健診

7-6. 千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

中央-4 圏域を受託し2つの事務所を拠点として松ヶ丘は8年目、白旗は丸3年務めさせていただいている。圏域内人口67,494人、高齢者人口16,030人、高齢化率23.75%で高齢化率は横這いで推移している。今年度も『地域包括ケアシステムの構築』に向けて柱となる多職種協働による連携体制作りに取り組んだ。更に引続き、地区社会福祉協議会、自治会連絡協議会、民生委員、との協力・連携、地域ケア会議の開催、多職種連携会議の参加と開催を通して、連携体制強化促進に努め、センターの周知活動も行った。

認知症施策に則り、認知症への正しい理解の普及啓発、予防についての取組みを進めた。

認知症、虐待事例、精神疾患、経済困窮、要介護者の家族への支援など様々な課題を抱えた地域住民の相談に対応し、医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスを継続して提供できる地域のネットワークづくりに重点をおき、行政機関、サービス提供事業者等とも連携しながら支援に努めた。

生活支援コーディネーターと協働して社会資源調査を実施、地域支援についての活動が始まった。

なお、今年度は9月10月の台風や豪雨の被災から、防災意識が高まり、地域各所で災害への備え、対策作りに取り組み始めた。次いで3月には新型コロナウイルスによる感染拡大という非常事態の中、地域包括支援センターとしての役割、対応方法の模索が続いている。

| 総合相談支援業務・権利擁護業務について

今年度も多くの相談をいただいた。相談経路として、親族、民生委員、医療機関、行政からの相談が多かった。相談内容として、これまでの傾向と同様、介護保険制度・サービスに関することが多く、申請代行、退院後の生活支援も多数携わらせていただいた。認知症に関する相談も多く、医療機関との連携、認知症初期集中支援チームへの相談、支援を検討、対応してきた。認知症の正しい理解・予防・普及啓発活動として、オレンジフェスタは地域の方と共同開催した。圏域内の4つの中学

校の1年生を対象とした認知症キッズサポーター養成講座は4年目となる。認知症声かけ訓練にも中学生が参加くださり、若い頃から認知症について考え、地域で支えていくという礎を築いている。また、ご利用者自身または家族が精神疾患のある方からの相談も多く、複合的な問題を有する方への支援は引続き多かった。経済的困窮者に対しても行政機関との連携を密にして対応に取り組んできた。町会自治会連絡協議会、社会福祉協議会地区部会、民生児童委員協議会等、地域の方との連携において、地域ケア会議開催、多職種連携会議開催など協働の機会を多く持つことで信頼関係の構築、互いの立場の理解を深めることができた。相談は受付票、支援経過に記録し、状況に応じて実態把握、訪問等対応に努めた。台帳をもとに月1回の会議を開催し、計画的支援と状況に合わせた迅速な対応を行った。

｜ 権利擁護について

高齢者の尊厳ある生活の維持を図るため、「高齢者虐待防止」「成年後見制度」「消費者被害防止」として関係機関と連携し地域住民向けに講座を開催し啓発活動に努めた。虐待の相談についてはマニュアルに沿って行政等関係機関と連携して対応した。成年後見支援センターと連携し成年後見制度や日常生活自立支援事業の活用結びついたケースが増えている。

｜ 包括的・継続的ケアマネジメント業務について

中央区5センター合同でケアマネジメントに資する研修会を2回、中央区主任ケアマネ連絡会でケアマネサロン4回開催、圏域内で事例検討会を1回開催するなど、介護支援専門員の資質向上・研鑽・レベルアップ、業務に役立てていただけるような取り組みを継続している。高齢者等の生活を支えるべく、適正なケアマネジメントが行われるよう、制度について情報収集し、圏域の介護支援専門員への情報提供、対応困難な事例には行政等とも連携・協力しながら対応させていただいた。

｜ 介護予防マネジメント・介護予防支援

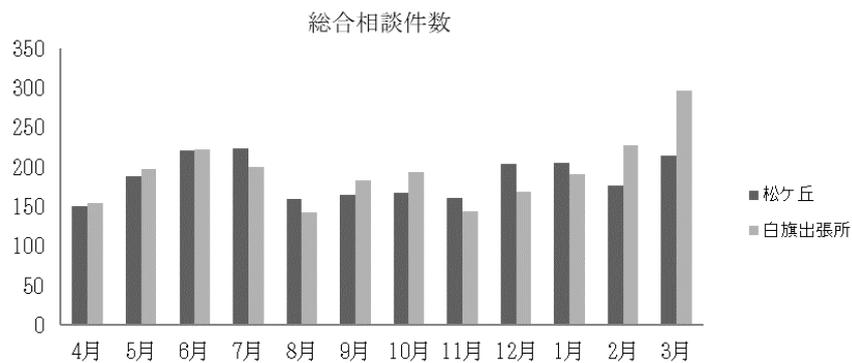
いつまでもいきいきと前向きに暮らし続けるために『フレイルの予防』（虚弱、老化の予防）に取り組んだ。要介護状態になるリスクがあると思われる方に対し、いきいき活動手帳の配布、活用に向けて取り組んだ。アセスメント（課題の分析）や基本チェックリスト等による状態の把握を行い、個別の状況に合わせ、介護予防ケアプラ

ンの作成をするなどして、住民主体の通いの場やその他のインフォーマルサービス等の利用に向けた支援を行った。

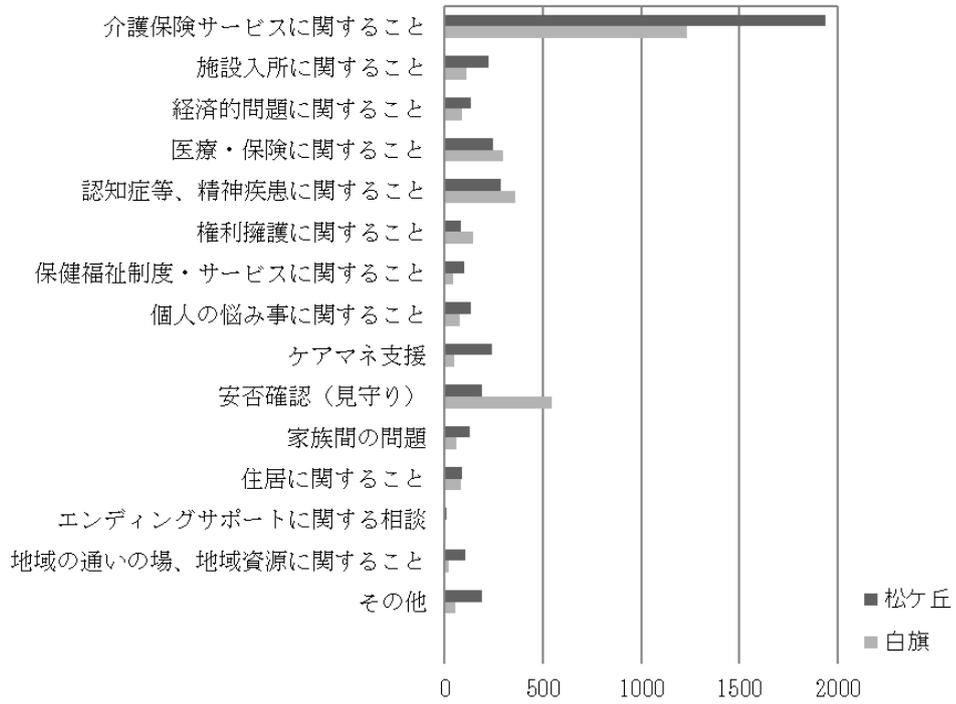
総合相談件数・内容

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松ヶ丘	150	189	221	224	160	165	167	161	204	206	176	214	2,237
白旗	155	198	223	200	143	183	194	144	169	191	228	297	2,325

相談内容	松ヶ丘	白旗
介護保険サービスに関すること	1,940	1234
施設入所に関すること	224	114
経済的問題に関すること	133	87
医療・保険に関すること	245	296
認知症等、精神疾患に関すること	289	360
権利擁護に関すること	85	145
保健福祉制度・サービスに関すること	103	47
個人の悩み事に関すること	136	77
ケアマネ支援	239	51
安否確認（見守り）	189	546
家族間の問題	131	64
住居に関すること	88	82
エンディングサポートに関する相談	13	0
地域の通いの場、地域資源に関すること	104	22
その他	192	57
合計	4,111	3,182



総合相談内容



契約数

		指定介護予防支援受託件数												
令和元年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約数	松ヶ丘 直営(予防)	72	72	68	71	71	69	75	75	78	78	82	81	892
	白旗 直営(予防)	58	58	61	61	61	61	62	60	60	60	60	63	725
	委託(予防)	158	158	165	159	164	166	165	168	165	175	167	161	1,971
	総数	288	288	294	291	296	296	302	303	303	313	309	305	3,588
	松ヶ丘 直営(総合事業)	61	63	62	61	58	55	44	49	48	47	48	44	640
	白旗 直営(総合事業)	42	42	40	40	37	35	45	44	44	41	41	38	489
	委託(総合事業)	115	115	114	115	111	115	116	110	110	104	107	93	1,325
	総数	218	220	216	216	206	205	205	203	202	192	196	175	2,454

介護予防活動（一部）		年間開催回数、延参加人数
白旗町1丁目 いこいの場	千葉県健康課と協同で、白旗1丁目にお住まいの高齢者の方を対象として、血圧測定、健康維持や介護分野に役立つ講座やレクリエーションを実施しています。 	10回 142名
シニアリーダー 体操教室	圏域内の10カ所の教室で介護予防を推進するシニアリーダーが、地域で高齢者向けの体操教室を開催しています。あんしんケアセンターでは教室開催のお手伝いをしています。	
南町団地うきうき スクール	千葉県健康課と共同で市営住宅南町団地および南町3丁目にお住まいの高齢者の方を対象に、血圧測定、体調の確認や健康についてのお話、音楽療法や落語、クラフトを行っています。高齢者が多い南町団地の課題を速やかに組み上げられるようにしています。	4回 31名
松ヶ丘おさんぼ クラブ	第2・4月曜日10時～12時 松ヶ丘公民館を出発して一時間程度かけてお散歩を行います。あんしんケアセンターの関わりとしては、散歩前の血圧・握力測定を行いながら健康状態や日常生活の様子を聴いたり、アドバイスをしたりしています。	16回 218名
ラジオ体操 小塚台公園 白旗公園	小塚台公園 毎週木曜日 白旗公園 毎週金曜日 体を動かすことで介護予防に繋がっています。集まりの場の提供、民生委員さんの参加もあり、近隣にお住いの課題を抱えた方を速やかに発見、相談の場ともなっています。小塚台公園は地域の方の自主活動に移行しました。 	1727名
仁戸名町さくら会	第1・3金曜日10時～12時 地域の集会所で、いきいき100歳体操、脳トレなどを行っています。地域の方の運営をあんしんケアセンターでサポートしています。 	15回 247名
星久喜町南部町 カフェ	月1回 第3木曜日 10時～12時 星久喜町南部会館で講座、健康体操はいきいきプラザ千葉中央の介護予防指導員が講師役となり行っています。ミニ講座は栄養、健康にかかわることや消費者被害対策、エンディングサポートなどご案内しています。 	11回 172名
自主活動 (生き生き百歳体操)	毎週火曜日 10時～ 白旗出張所では、近隣の住民の方にセンターを一部開放し、いきいき百歳体操を行っています。 	197名
クラフト教室	松ヶ丘 月1回第4水曜 白旗出張所 月1回第4木曜 クラフト製作で達成感を得て楽しい時間を過ごしていただいています。おしゃべりを楽しんでいただき、地域の皆様が継続して参加できる場や交流の機会、閉じこもりの予防となっています。	20回 129名

認知症徘徊声掛け 模擬訓練	台風の影響で10月予定した訓練は2月開催に変更となりましたが、松ヶ丘中学校1年生の14名の参加がありました。松ヶ丘地域運営委員会と協働して松ヶ丘中学校校庭での声掛けの訓練となりました。	44名
オレンジフェスティバル（認知症の理解を深める会）	蘇我地区地域運営委員会と共同開催にて、認知症について理解を深める催し「オレンジフェスティバル」を開催しました。蘇我駅西口にある今井会館を会場として認知症クイズ、権利擁護に関する中央警察署の講話、ボッチャ体験、介護相談、認知症マスコットのロバ隊長のフェルトバッジ作りなどで盛り上げました。	100名
淑徳オレンジカフェ	月1回 第1土曜日 淑徳大学看護栄養学部とひだまり運営委員会が中心となり地域の認知症の方やそのご家族の地域交流の場として認知症カフェをひらいています。あんしんケアセンターも参加・協力しています。	
認知症サポーター 養成講座	認知症について正しく理解していただくための講座です。DVD やクイズ、寸劇などを通して分かりやすくお伝えしています。圏域の4つの中学校、銀行、認知症カフェ、自治会、地域のカフェで開催しました。	8回 610名
認知症初期集中支援 チーム（会議）	認知症の方と認知症の疑いのある方への支援として専門職が自立支援のサポートをチームで検討・対応する。	
地域ケア会議	松ヶ丘 個別課題2回開催 地域課題2回開催 白旗出張所 個別課題2回開催 地域課題9回開催 地域の実情にそって、地域資源をどのように構築していくべきか、課題を把握し、解決手段を導き出すため、多職種で話し合う場を設け、問題解決にあたっています。	15回
多職種連携会議	8/1 中央区 テーマ：意思決定支援ガイドライン基礎研修 ～認知症の人の意思決定を支えるため心構えとプロセスとは～ 11/11 松ヶ丘圏域 テーマ：医療と介護の連携の実際 ～意思決定支援を踏まえた退院カンファレンスの在り方～ 医師、歯科医師をはじめ、各職能団体、地域団体より多くご出席いただき、活発な意見交換を行う事ができました。	152名 78名
いきいきサロン	千葉市健康課が主体となって公共施設などを会場として「語らいの場」やレクリエーションの機会を提供し、閉じこもりの防止や地域交流・仲間づくりを進める活動をあんしんケアセンターも参加・協力しています。	5回 84名
ヘルスサポーター 養成教室	地域にお住まいの方に運動習慣を身につけ、地域で運動を継続するグループを作るために行う教室を中央区健康課と共催しました。	71名

7-7. 千葉市生活支援コーディネーター

受諾2年目となる令和元年度は、初年度に構築したネットワークを足掛かりに「集いの場」である地域資源を2カ所創出することができた。また、あんしんケアセンターと協働し、戸別訪問による実態把握調査を行うなど他圏域では行っていない先駆的な取り組みを実践することができた。担い手の養成は出前講座を開催するにとどまっていたが、今後は「地域で活躍する人材の育成」を目標にネットワークを拡大していきたい。

※資料1「地域ともいき通信」

(1) 地域のニーズに応じた重点的業務

① 生活支援・介護予防サービスの提供状況の把握

第1四半期は把握済みの地域資源情報の更新作業を実施する。圏域の団体やサービス事業所にヒアリングを行い、令和元年7月開設の「千葉市の生活支援サイト」にその情報を公開している。新たな地域資源情報取得にも努め、特にグラウンドゴルフ団体の調査を積極的に進める。

第2四半期は訪問介護事業所に対して「自費サービス」に関するアンケート調査を実施する。「自費サービスを提供している」と回答した事業所に対しては第3四半期で順次訪問し、サービス内容についてヒアリングを行う。また、住民への情報提供がWeb上だけで限定されることがないように紙媒体での情報提供も心掛け、「シニアリーダー体操教室マップ」や「地域ともいき通信」(※資料1)を作成する。

② 生活支援・介護予防サービスの創出

昨年度より立ち上げを支援していた2団体が6月に活動をそれぞれスタートさせる(※資料2、資料3)。

現在も両団体と連携を取り、活動内容に対する助言、地域への広報活動等支援している。特にドーナッツ



※資料2
認知症カフェ「アロマカフェ」



※資料3
健康サロン「ドーナツカフェ蘇我」



カフェ蘇我に関しては、カフェを運営しているサービス事業所だけでなく、同じエリアにある他の事業所にも担い手側としての参加を呼びかけている。

その他にもあんしんケアセンターによる出張相談やシニアリーダー体操、ちばしいきいき体操の新規教室開催等、集いの場が多く展開されるよう各団体に働きかける。

③ 支援ニーズの把握

年度当初に「仁戸名町団地における実態把握調査」を重点項目として掲げ、その調査を実施するための準備に多くの時間を割いた。まず、実態把握調査を実施するために関係機関(仁戸名南自治会長、シルバーハウジング受諾事業所)との新たなネットワークを構築する。第2層協議体(地域ケア会議)を開催し、構成員同士の情報共有や調査を実施するための合意形成を図る。11、12月にあんしんケアセンター職員と戸別訪問による調査を実施する。調査を通して地域住民同士のつながりが希薄であることがわかったが、来年度以降に進める地域づくりの布石としたいと考えている。

④ 担い手の養成

認知症カフェスタッフ含めた地域住民に認知症サポーター養成講座を開催する(資料4)。

※資料4 認知症サポーター養成講座

また、「地域の支え合い」をテーマとした出前講座をいきいきプラザ千葉中央や蘇我いきいきセンターで第1層コーディネーターと協働で開催する。他にも単独で星久喜南部町カフェや白旗憩いの場で出前講座を開催する。



(2) ネットワークの構築

① あんしんケアセンターとの連携

松ヶ丘センターと白旗出張所の各定例会や2センター合同会議、社会福祉士連携会議に毎月出席し、情報共有を図っている。また、主任介護支援専門員には圏域内の介護支援専門員への地域資源周知で相談し、保健師・看護師とは地域の介護予防について話し合うなど三職種との連携に努める。

認知症への理解を深める普及啓発イベント(認知症メモリーウォーク、RUN 伴、声

掛け訓練)にあんしんケアセンターや地域住民の方と一緒に参加する。白旗出張所主催のオレンジフェスティバルでは企画・運営にも携わり、「認知症カフェ紹介」や「ボッチャ体験会」の企画、学生ボランティア募集を担当する。

② 市や社協、関係機関・団体との連携

関係機関、社協、行政、サービスを提供する団体とのネットワークづくりや情報共有を常に心掛ける。シニアリーダー体操教室は市内随一の開催数を誇り、毎月の連絡会参加や教室訪問により、各シニアリーダーとの連携を密に図るようにしている。今年度は他にも蘇我コミュニティセンターから出張相談の依頼が入り、あんしんケアセンターにつなげる。

② 協議体設置に向けた取組み

あんしんケアセンター主催の地域ケア会議（蘇我地区、白旗一丁目自治会、南町団地）に参加し、生活支援や介護予防の視点から地域づくりの必要性を述べた。また、仁戸名町団地やドーナツカフェ関係団体との連携を図り、第2層協議体の開催を主導する。

8. 各委員会・部会活動報告

各種委員会を設置し、他事業も含めた全職員が参加して、改善すべき課題について検討を重ね、必要に応じて内部研修等を行った。

入所判定委員会（随時）

入所判定委員会は施設長・事務長・生活相談員・看護師・介護支援専門員で構成されており定期的（2か月に1回程度）または随時を含め年間10回開催した。

リスクマネジメント委員会（随時）

感染症対策委員会（毎月第3火曜）

4月	前年度を振り返り、インフルエンザ感染予防対策と感染時の対応を作成。
5月	ダストペール20型（蓋つきペダル式のごみ箱）、Sジェル（携帯用手指消毒）購入、感染予防を意識しながら使用していく。
6月	食中毒とは？食中毒予防の3原則ポスター作成。衛生管理・消毒一覧表作成。冷蔵庫・台所周囲等整理、清掃。手指の正しい洗い方、カビ発生・除去
7月	吸引器について。必要物品、正しい吸引方法
8月	「施設等の集団生活における感染症対策」千葉県総合保健医療センターにて研修に参加
9月	インフルエンザ流行期を目前に再度、インフルエンザ感染予防対策とインフルエンザ感染時の対応を作成。今年度から10月もしくは一般的な流行期に合わせて予防していく。インフルエンザ以外の感染症ポスター作成
10月	超音波式噴霧器・マルクリーンピュア50ppmを購入。使い方、管理について
12月～1月	インフルエンザ感染は職員2名、職員のご家族は5名。インフルエンザ感染予防再確認。1月、中国で新型コロナウイルス流行、情報収集。ノロウイルスグッズ必要物品と使用目的の確認。
2月	日本でも新型コロナウイルス感染拡大。新型コロナウイルスの対応、感染症対策2/26（木）～3/31（火）まで面会禁止。訪問歯科、苑内研修のみ可、外部研修、レク、ボランティア、サイフォン、大学実習等は中止
3月	引き続き4/30（木）まで面会禁止。訪問歯科、苑内研修、理美容、リハビリは可（後に中止）。外部研修、レク、ボランティア、サイフォンは中止。出勤時の検温方法をはじめ感染予防を強化。マスク、消エタ、次亜塩素酸等の在庫管理

身体拘束廃止委員会（毎月第1水曜）

今年度も、リーダー・サブリーダー・他職種との連携を密にとり、苑として身体拘束の廃止に取り組むことができた。身体拘束を行っているケースは、1ケースごと丁寧に見直しを行った。今年度の身体拘束者は4名（居室窓の施錠・ベッドを柵で囲う）であった。拘束時間を短縮するなどの部分的な解除は実施できたが、完全になくすこ

とには至っていない。

転倒抑止・徘徊察知目的のセンサー使用者は、入居者様の入退所の変化にともない、増減がみられた（使用者 47 名）。全体としては増加傾向で、入所前に身体拘束をされている状態の方が多く、身体拘束を行わない代わりにセンサーを使用しているケースが多い。引き続き、使用の際には、行動抑制になる使用は厳禁とのルールを作り実施した。センサー解除に向けては、特に重点的に解除に取り組む対象者と実施期間を決めて、行うで解除数が増加している。

引き続き、苑全体として、身体拘束の現状と取り組みを認識できるように情報の共有化に努めていく。

事故防止委員会（第 4 火曜日）

各部署からのヒヤリハット・事故報告を基に、予防・対応策の検討を行った。

- ・ ヒヤリハット報告の意識も定着してきており、ユニット内での情報共有ツールとして活用できたように感じる。記録するケースを手間としないよう、小さな気付きでも書くことを習慣としていく。
- ・ 事例検討にて意見交換を行いながら、対策を考え実施しフィードバックすることで意識を高めることができた。
- ・ 今年度も転倒・骨折などの事故が多く見られた。中にはユニット内の物品による事故もあり、ハード面の見直しも検討する必要がある。
- ・ 転倒・転落等が多い状況だが、誤薬などの人為的ミスも続いているので、その都度原因を調査し改善策を検討していく。
- ・ 相変わらずセンサー等を使用する入居者が増えている状況。センサー頼りにならないよう、見守りや巡視の工夫とセンサーの鳴動による入居者様のストレスなどにも配慮していく必要がある。身体拘束廃止委員会との情報共有・連携を図っていく。
- ・ 事故については委員会内で内容と対応・対策について報告し情報共有を行う。同様の事故を未然に防げるように周知していく。ヒヤリハットの情報をユニット会議などで活用し、ユニット職員が同じ視点で事故防止に取り組めるようにしていく。小さな気付きでもそのまま見過ごすことのないよう、記録に残していく。

教育・研修委員会（毎月第1水曜）

- ・ 苑内・苑外研修会は火曜日 16：30～17：30 の日時、おゆみホールを開催場所とし実施した。
- ・ 年度初めに施設長による「援助者としての基本姿勢～専門職の行動と価値観を育む」の研修会でスタートした。
- ・ 新任職員や現職員の技術面の再確認として恒例ではあるが基礎介護技術（食事・排泄・入浴）についてユニットリーダー・サブリーダーを講師として講義・実践を交えて年間3回行った。
- ・ 必須研修の「食中毒について」、「事故防止対策について」、「感染症（インフルエンザ／ノロウイルス）～知っておくべき基本の話」、「権利擁護／虐待について」、「身体拘束廃止について（2回）」など各部署・委員長・外部講師による研修を実施した。
- ・ 外部講師による「リハビリレクについて」、「オムツについて」、「ハンドタッチケア～職員向け（2回）」、「水分補給（脱水症状）について」、「低栄養の栄養管理」、「マナー研修」、「介護用品について」、「普通救命講習」、「介護における口腔ケアの重要性と効率的なやり方」、「褥瘡の予防：座位のシーティング」、「入浴に潜む危険性・対策（介護用品について）」など幅広く職員が受講したいと希望する研修を取り入れ実施した結果、全体的には多くの職員に高齢者福祉施設に勤務するための必要な基礎的知識・技術の習熟を図ることができたのではないかとと思われる。
- ・ 年度末に参加回数を集計し上位者を表彰することにより、さらなる研修への関心や向上心など参加意欲に繋がるように努めた。

給食委員会（毎月第4水曜）

日々の給食やレクリエーションについて協議することを目的に委員会を開催した。厨房職員を含めた多職種で、意見交換や食事に関する情報共有を行い、レクリエーションや給食の改善を目指した。委員会以外の場でも日頃からスタッフや入居者様とコミュニケーションをとり、より多くの意見を取り入れられる様に努めた。

年度末から使用食器の統一や配膳方法の変更を行った為、厨房・ユニットの両者が

円滑な作業を行えるよう意見の把握・調整を引き続き行っていく。

排泄・褥瘡委員会

現在、施設において褥瘡のある入居者は0名である。褥瘡のリスクがあるかその他原因によるものかの評価をし、対応の方法をそれぞれに検討し、皮膚のトラブルについては医師診断のもと、適した処置材料を選択し、処置にあたり必要時は、写真保存を行い他職種と情報共有を行った。重症化による臥床時間の長期化に対しては、ベッド上や車椅子での耐圧測定やマットの評価を行い、褥瘡リスクとなる原因の除去に努めた。また、ユニットスタッフとの連携により、情報交換・処置の協力体制などを円滑に行っていた。

皮膚トラブルの中で多いのが、便の回数や柔らかい便によるただれが原因となる表皮剥離や、痒みによる掻きこわしにての表皮剥離であった。医師と相談の上、下剤の調整、及び排便コントロールを行い、併せて適切な軟膏の処置を早期に開始していく事で悪化を予防していくことができた。

排泄委員会では、排泄ケアに必要な物品の購入を各ユニットのニーズに合わせて行った。皮膚トラブルに関して、褥瘡委員会と連携し、排泄ケアの見直しを促したりと予防につながった。

行事委員会（毎月第1水曜）

今年度も年4回の宗教行事を中心に、季節毎に恒例となった行事を滞りなく開催することができた。宗教行事と合わせて披露されるアトラクションも地域のボランティアの方々が様々な披露をしてくださった。春のお花見に始まる共生苑の年間行事は、大巖寺の桜を見て巡り、夏の一大イベントである納涼祭は天候にも恵まれ、当日プログラムに若干の変更があったものの盛大に開催することができた。今年度もグラウンドでの開催で飛翠迅様のよさこい演舞、紅嶽太鼓様による和太鼓披露と、入居者との距離も近くとても有意義な時間であった。秋には敬老会を行い、入居者様、ご家族、職員が多くのかし物に参加し、今年も賑やかな行事となった。年末には恒例の餅つき会が行われ、今年度もおゆみホールでの餅つきとなり新年を迎える準備を入居者様の方々とご家族様を交えて皆様で楽しむことができた。

大きな行事だけでなく、毎月の書道クラブや法話会を行う上で、実習生や

家族会の皆様、地域ボランティアの皆様の協力が欠かせない存在となっており、誘導や見守りのお手伝いや、会場の設営などにもご協力いただいている。

今後もボランティアの方々、ご家族様、また地域の皆様の協力を得て、入居者様のQOL向上を目指し楽しい行事を企画・実施していきたい。

広報委員会（毎月第2火曜）

第45号を4月、第46号を7月、第47号を10月、第48号を2月に発行した。季節ごとの各事業所の様子が皆様に伝わる誌面づくりに努めた。苑内行事の写真撮影、ポスター掲示も例年通り行った。

リーダー会議（毎月第1水曜）

毎月、月初め、月末と各ユニットのリーダー・サブリーダーと各職種で、ケアの見直しや苑全体としての情報共有、各職種との意見交換を行った。次年度はリーダー・サブリーダーそれぞれが、リーダーとしての自覚・役割の認識を強く持てるようにする。リーダー会議の内容についても見直しを図る。

記録部会（毎月リーダー会議時に実施）

記録に関する物品購入は、年2回スムーズに行えた。ユニット会議を円滑に行えるようユニット会議議事録の書式を見直し変更をした。次年度は、介護業務日誌の見直しに取り組んでいきたい。その他、記録物の保管場所の整理整頓など、定期的に確認する機会を設けていきたいと考えている。

リネン部会（毎月リーダー会議時に実施）

リネン類の各ユニットへの持ち出し方法や洗濯依頼方法の変更を行って2年目となり、各職員へも浸透し、リネン類の巡回が安定した。数量不足等への対応も事前に行えるようになっている。掛け布団の年次交換も適切な時期にスムーズに実施できた。褥瘡予防マット等の使用状況や保管場所などの把握を行い、管理体制を維持できた。コスト削減への意識は、次年度以降も課題といえる。

入浴部会（毎月リーダー会議時に実施）

各浴槽の故障については随時、修理・交換を行い、入居様様が快適に入浴できるように努めた。今後も、入浴環境の故障や不備に関しての報告連絡の徹底を図りたい。季節によって菖蒲湯・柚子湯など入居様様に入浴を楽しんでもらえた。ADLの低下により機械浴の需要も多くあるので、次年度は各ユニットの機械浴使用日の調整を行っていききたい。

レク部会（毎月リーダー会議時に実施）

今年度も毎週木曜日に定期的に体操・カラオケ・風船バレー・お茶会を中心に行い、季節に合わせたスイカ割りや焼き芋も行い、利用者様にも好評も頂いた。又、買い物・ドライブなど施設外へのレクも実施。

ただ、2月から感染症対策（新型コロナ）にて、合同レクの実施は中止。ユニット事にて、それぞれレクを実施している。次年度の内容については、感染症の状況踏まえ検討し対応していく。

9. 防災対策報告

令和元年度は台風 15 号・19 号といった大きな災害が相次ぎ、近隣の地域・家庭でも家屋の損壊や浸水などの被害が多くみられた。当施設においても、一部屋根の損壊・浸水、短時間の停電など被害があったが、幸いにも運営自体に大きな影響はなく、入居者の生活に支障が出る事態には至らなかった。だが、今後も同様の自然災害が起きることを想定し、対策を検討していく必要がある。消防訓練については、例年通り各部署ごとに初期消火訓練・通報訓練・避難誘導訓練を中心に行った。職員各自が日頃から防災意識を高め、生浜地区・生実町内会との連携を進めていきたい。

| 防災実績

月	時間	訓練	内容
毎月 1 回	適宜	消防用設備自主点検	1. 消火器 2. 消火栓 3. スプリンクラー 4. 自動火災報知機 5. 放送設備 6. 非常ベル 7. 誘導灯 8. 建物等の自主検査
9 月 27 日 2 月 17 日	定期	消防設備法定点検の実施	1. 消火器 2. スプリンクラー 3. 自動火災報知機 4. 消防署通報システム（非常通報電話） 5. 非常警報器具及び設備 6. 誘導灯及び誘導標識 7. 非常発電設備など
5 月 8 日	14:00 ～ 14:20	総合訓練 (水害・土砂災害)	台風や大雨による水害・土砂災害を想定し、通報・放送設備での非常放送、部署ごとの避難誘導訓練を実施した。
5 月 27 日	14:00 ～ 14:20	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
6 月 18 日	14:30 ～ 14:50	総合訓練（夜間想定）	2 階ユニットにおいて、夜間における火災時の役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
7 月 18 日	14:00 ～ 14:20	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
2 月 4 日	14:00 ～ 14:20	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。

3月30日	14:00 ～ 14:30	総合訓練	3階ユニットにおいて、大規模地震発生を想定した火災時の役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。今回は新人職員の研修を中心に、水消火器などを使用し訓練を行った。
-------	---------------------	------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

10. 法話会活動報告

参加者数が平均 37 名、多い時には 45 名を超え、入居者にとっても楽しみな行事のひとつとなってきた。時事にからめた講話や頭の体操・歌など、内容も多岐にわたり、講師方とのふれあいの機会を楽しみにしている方も多。また、参加するボランティア・実習生などにも貴重な学びの場となっている。

時間・場所 毎週金曜日 10:00～11:00 (60分) 4階 月影堂
 参加者 講師 9 名による当番制で 2～3 名、入居者 20～30 名、
 家族、ボランティア 4～5 名、実習生、職員 2～5 名

法話会実施状況

月	日付	入居者人数	家族人数	ボランティア	職員人数	実習生人数	講師人数	人数計	主な内容
4月	6日	27	0	5	3	0	2	37	令和新年号の話、法然上人の話、歌
	12日	26	0	5	3	0	2	36	地元の子供会の話、吉田兼好の話、季節の歌
	17日	34	0	4	9	0	9	56	降誕会
	26日	19	0	5	3	0	1	28	TBS 報道特集「外国人介護士」当苑紹介、歌
5月	10日	25	1	5	4	0	2	35	体操、紙芝居、各国「母の日」話、田植の話、歌
	17日	23	0	5	4	0	2	38	極楽の話、雅楽「笙」習い事、お経の話、歌 2 曲
	24日	22	0	5	4	0	1	32	お葬式とお施餓鬼の話、季節の歌 2 曲
	31日	23		5	3	0	1	32	昭和前期の世相ビデオ鑑賞、季節の歌 2 曲
6月	7日	20	0	4	2	0	2	28	故人追悼文 5 名紹介、話の玉手箱偉人の話
	14日	21	0	4	2	0	2	29	体操、紙芝居、季節の歌、御詠歌
	21日	27	0	5	2	0	1	35	故人追悼文 1 名紹介、観音菩薩の話、歌 2 曲
	28日	25	0	3	3	0	2	33	熊本刑務所の話、お経とは・・・第 2 弾、季節の歌 2 曲
7月	5日	32	1	4	7	0	8	52	盂蘭盆会 懇談会
	19日	17	0	5	2	0	1	25	昭和前期の世相ビデオ鑑賞第 2 弾、季節の歌 2 曲

月	日付	入居者人数	家族人数	ホランテア	職員人数	実習生人数	講師人数	人数計	主な内容
	26 日	21	0	5	3	0	1	30	お盆の思い出の話、季節の歌
8月	2 日	25	0	5	1	1	2	34	体操、紙芝居、御詠歌、季節の歌
	9 日	26	1	5	4	8	1	45	詩吟を披露、お盆の話、季節の歌
	23 日	26	0	5	3	0	2	36	日韓関係より良くするヒント、お経の話、歌2曲
	30 日	26	0	5	3	0	2	36	夕やけこやけの話、「苦楽共に思い合せて」の話
9月	6 日	29	0	5	3	7	1	45	船橋大神宮についての話、季節の歌2曲
	13 日	28	0	5	2	2	1	38	昭和前期の世相ビデオ鑑賞第3弾、季節の歌2曲
	27 日	25	1	5	3	0	3	38	故人追悼文3名紹介、紙芝居「老人を捨てる国」、歌
10月	4 日	16	0	5	2	0	2	25	「生きる上で大切なこと」、お経とは、歌2曲
	18 日	25	0	5	2	0	1	33	体操、朗読「花さき山」など、季節の歌2曲
	25 日	25	0	4	3	0	1	38	故人追悼文3名紹介、季節の歌2曲
11月	1 日	24	0	4	2	0	1	31	昭和前期の世相ビデオ鑑賞第4弾、季節の歌2曲
	8 日	26	0	5	3	0	1	35	千葉県の実りにくい地名等、話の玉手箱
	15 日	24	0	5	2	0	2	33	大嘗祭、正倉院の世界、浄土宗チャンネル、歌
	22 日	20	0	5	3	0	1	29	台風15号・19号災害の被災地の状況、季節の歌
	29 日	26	0	5	3	0	2	36	体操、朗読「モチモチの木」、季節の歌
12月	6 日	25	0	5	8	0	7	45	成道会
1月	10 日	21	0	5	3	0	1	30	紙芝居「ねずみのほりもの」、体操、季節の歌
	17 日	26	0	4	4	0	1	35	故人追悼文紹介、老いることについて、歌2曲
	24 日	22	0	3	3	0	2	30	「不易流行」の話、一枚起請文の話、季節の歌
	31 日	22	0	3	3	0	2	30	「自他共に思い合い」話、漢字クイズ、夢を抱く
2月	7 日	19	0	4	5	0	7	35	涅槃会
	14 日	23	0	5	1	0	1	30	昭和前期の世相ビデオ鑑賞第5弾、季節の歌2曲
計		901	4	166	124	18	81	1,170	

11. ボランティア受入報告

今年度も定期的なボランティアのほか、行事のボランティアなど、多くの個人やグループ、地域のご協力をいただくことができた。

日程	活動内容	活動場所、イベント	所属（グループ名）	人数
毎週月	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週火	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週水	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週水	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週木	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週金	喫茶の運営、勤行の見守り	喫茶サイホオン	—	2名
不定期・継続	車椅子の修繕、点検	特養ユニット・デイ	—	1名
第1.3月曜	書道	特養ユニット	コスモス会	1名
第1.3月曜	書道の見守り・誘導	特養ユニット	—	1名
不定期・継続	華道	デイ	—	1名
不定期・継続	書道	デイ	—	1名
毎週金曜	勤行の誘導・見守り等	勤行	—	5名
隔週金	歌の演奏・合唱	特養ユニット	ひろの会	1名
毎月1回	編み物	特養ユニット	—	1名
年2回	清掃奉仕	玄関下駄箱清掃	(元)入居者ご家族	3名
4月9日, 10月29日	車椅子清掃	郵政労組奉仕活動	J P 労組	約20名
6月3日, 8月9日, 12月9日	カラオケ披露	デイ	シルバームーン	3名
7月5日	銭太鼓	盂蘭盆会	創作胡蝶流銭太鼓	5名
7月21日	和太鼓	納涼祭	紅嶽太鼓	約10名
7月21日	盆踊り	納涼祭	葉月会	約7名
7月21日	演舞	納涼祭	飛翠迅	約25名
7月21日	見守り	納涼祭	淑徳大生	5名
7月21日	模擬店手伝い	郵政労組奉仕活動	J P 労組	約20名
11月28日	日本舞踊・フラダンス	特養ユニット・デイ	生浜地区生実町みつる会	8名
12月7日	日本舞踊	成道会	角栄舞踊会	6名
12月12日	演奏	おゆみホール	アルカス	3名
12月14日	和太鼓	おゆみホール	蘇我太鼓	約10名
12月19日	トーンチャイム	クリスマス会	結	約15名
12月27日	餅つき	餅つき大会	ご家族等	4名

1月6日	ニューイヤーコンサート	コンサート	淑徳大学 看護栄養学部生	約40名
				計 約208名

| 喫茶サイホン実施状況

月	稼動日	コーヒー	紅茶	梅昆布茶	ココア	緑茶	季節茶	合計
4月	18日	199	1	86	29	9	0	324
5月	17日	198	2	77	29	9	0	315
6月	18日	216	3	68	30	4	12	333
7月	19日	226	10	54	31	1	51	373
8月	16日	183	8	57	28	9	0	285
9月	17日	195	8	67	35	5	0	310
10月	17日	202	6	50	25	4	0	287
11月	18日	238	6	74	28	8	0	354
12月	14日	186	3	88	22	0	0	299
1月	15日	169	2	38	16	5	0	230
2月	12日	105	1	37	7	1	0	151
3月	0日	0	0	0	0	0	0	0
計	181日	2,117	50	696	280	55	63	3,261

12. 家族会報告

発会から9年目となり、年2回の清掃奉仕、敬老会、もちつき大会の共催には毎回多数のご家族様の協力が得られている。

その他、令和元年度は以下のように運営された。

| 活動内容

頻度・日時	内容
6月9日	第一回役員会・清掃奉仕・総会・懇談会
9月16日	敬老会に紅白饅頭を提供
12月15日	第二回清掃奉仕・懇談会
12月27日	もちつき大会
随時	共生苑職員へ祝い金支給、ポロシャツ支給
随時	退所者へ香典、餞別支給

